地デジ対応館内自主放送共聴システム
HD/SD エンコーダ内蔵 OFDM 変調器

PV-300H

取扱説明書

安全にご使用いただくために

取扱説明書をよくお読みいただき、内容を十分に理解したうえで使用してください。
特に**安全上のご注意**は必ず読んで正しくお使いください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
保証書は本書に付属されています。

はじめに

このたびは地デジ対応館内自主放送共聴システム HD/SD エンコーダ内蔵 OFDM 変調器 PV-300H をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

お断り

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁じられています。
2. 予告なしに本書の内容を変更することがありますのでご了承ください。
3. 本製品及び本書の内容に関しては、万全を期しておりますが、万が一誤りや記載漏れなど、ご不明な点がありましたらご連絡ください。
4. 本製品を使用したことによる、お客様の損害その他の不利益に関しまして、いかなる請求につきましても当社はその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

2013 年 2 月改訂
お断りなく仕様などを変更する場合があります。ご了承ください。

目　次

安全にお使いいただくために

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。
その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠危険	人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じる内容を示します。
⚠警告	人が死亡または重傷を負う内容を示します。
⚠注意	人がけがをしたり、財産に損害を受けるおそれがある内容および、物的損害発生が想定される内容を示します。

図記号の意味

 「注意」 気をつける必要があることを表します。

 「禁止」 してはいけないことを表します。

 「強制」 必ずすることを表します。

⚠危険

可燃性ガスおよび爆発性ガスが、大気中に存在するおそれのある場所では、本機を使用しない。

スイッチやコネクタなどの電気火花により引火爆発を誘発し、けがまたは死亡する原因となります。

警告

交流 100 ボルト以外の電源電圧で使用しない。

火災・感電の原因となります。

本機のアース線を必ず取り付ける。

アース取り付け

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
電源プラグを保護接地コンタクトをもった電源コンセントに挿入してください。

本機のカバーは絶対に外さない。

分解禁止

感電の原因となります。内部の点検調整・修理は弊社にご依頼ください。

本機を分解したり改造しない。

分解禁止

発熱・発火・感電・けがの原因となります。

本機の開口部（空気取り入れ口やFAN など）から、内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を入れない。

火災・感電の原因となります。特にお子様がいる環境では注意してください。

異物や水が本機の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜く。

電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いて弊社にご連絡ください。

屋外では使用しない。

本機に水を入れたり、ぬらしたりすると火災・感電の原因となります。

本機の上には、水や薬品の入った容器を置かない。

水や薬品がこぼれたり、内部に入った場合、火災・感電の原因となります。

煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のときは電源プラグを抜く。

電源プラグを抜く

異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いて弊社にご連絡ください。

本機を落としたり、カバーを破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いて弊社にご連絡ください。

雷が鳴り出したら本機・電源プラグ・接続ケーブルには触れない。

接触禁止

感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工したりしない。また無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。

電源コードが破損して火災・感電の原因となります。

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）弊社にご連絡ください。

弊社に連絡

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源コードの上に重いものを乗せたり、コードを本機の下敷きにしない。

コードに傷がついて火災・感電の原因となります。コードの上を敷物で覆うことによって、それに気付かず、重いものを乗せてしまうことがあります。

警告

電源プラグの刃や刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、乾いた布で取り除く。

ほこりを取る

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かない。また、縦置きにしない。

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

注意

本機を油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所で使用しない。

火災・感電の原因となることがあります。

本機を冷気が直接吹き付ける所や極端に寒い所に置かない。

つゆがつき、漏電、焼損、故障や事故の原因となることがあります。

本機の FAN や空気取り入れ口をふさがない。

内部に熱がこもり，火災の原因となることがあります。
次のような使い方はしないでください。

- 本機を棚や木箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんなどの上に置く。
- 本機をあお向けや横倒しにて使用する。

本機を直射日光の当たる場所や温度の高い場所に置かない。

内部の温度が上がり、火災・感電の原因となることがあります。

本機の上に乗らない。

倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。特にお子様がいる環境では注意してください。

本機の上に重い物を置かない。

バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

同梱の電源コードは本機専用です。他の電源コードを使用しない。

火災・感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない。

コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

移動させる場合は電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外したことを確認の上で行う。

電源プラグ・接続コードを抜く

接続したまま持ち運ぶとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

移動させるときは、落としたり、衝撃を与えない。

けがや故障の原因となることがあります。

お手入れのときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行う。

電源プラグを抜く

そのまま行うと感電の原因となることがあります。

キャスター付きの台に本機を設置する場合にはキャスター止めをする。

キャスター止めをする

動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

注意

電源コードを抜くときは電源コードを引っ張らない。

コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。

確実に差し込む

差し込みが不完全なときは、発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。

電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるときは、コンセントに接続しない。

確実に差し込む

発熱して火災の原因となることがあります。弊社にご連絡ください。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。

電源プラグを抜く

火災の原因となることがあります。

タコ足配線をしない。

火災・感電の原因となることがあります。

コード類は正しく配置する。

電源コードや接続ケーブルなどは足に引っ掛けると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。十分注意して接続、配置してください。

本機を廃棄するときは，地方自治体の条例にしたがって廃棄する。

条例を確認

ご使用上の注意

本機をご使用の際には、以下の点にご注意願います。

1．本機にて配信する全ての映像コンテンツにつきましては、必ず権利者の承諾を得たものをご使用ください。

2．その他の注意事項

① 本機前面の空気取り入れ口や背面の FAN は、通風および放熱のために設けています。開口部をふさいだり覆ったりしないでください。また、本機の周囲温度が＋ 40℃を超えるような場所に設置しないでください。

② FAN が停止した状態で使用し続けないでください。内部温度が上昇して故障の原因となります。

③ 本機に使用している FAN は、7 年毎に交換してください。FAN の交換方法につきましては、弊社または代理店までご連絡ください。弊社連絡先に関しましては 98 ページの「お問い合わせ相談窓口」をご参照ください。

④ 設定中に電源スイッチを切ると、設定データが消去されることがあります。また、バージョンアップ中に電源スイッチを切ると、回復不能な起動不良状態に陥る危険性があります。

⑤ 必ず時刻補正を行ってから運用してください。テレビやチューナーの作動に影響を与える恐れがあります。

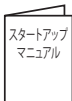
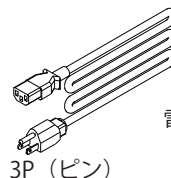
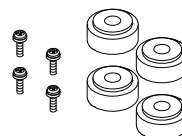
⑥ 接続するアンテナケーブルや AC コンセントには、市販の雷対策用の外付けプロテクターを装着することをおすすめします。

⑦ 本機をラックに収納する場合、サポートアングルを使用して本機を支えてください。また、ケーブルは結束バンドなどで束ねるなどしてコネクタやケーブルに無理な力が加わらないようにしてください。

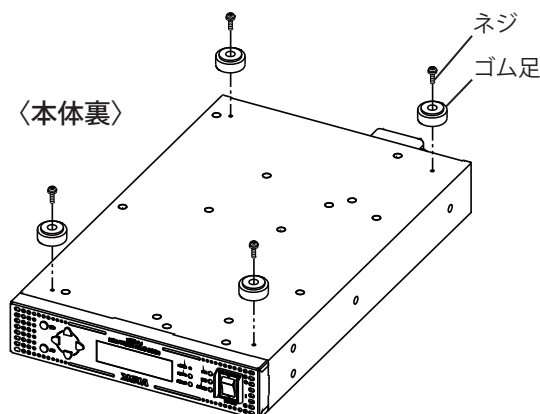
⑧ 本機は、商工業地域で使用されるべき情報装置です。住宅地、またはその隣接した地域で使用すると、ラジオテレビジョン受信機等に、受信障害を与えることがあります。

ご使用になる前に

同梱品

開梱したら同梱品がそろっているか確認してください。

出荷に際し、品質や梱包などには万全を期しておりますが、万一、破損や部品不足、その他お気付きの点がありましたら、弊社までご連絡くださいますようお願いいたします。

ゴム足取付図

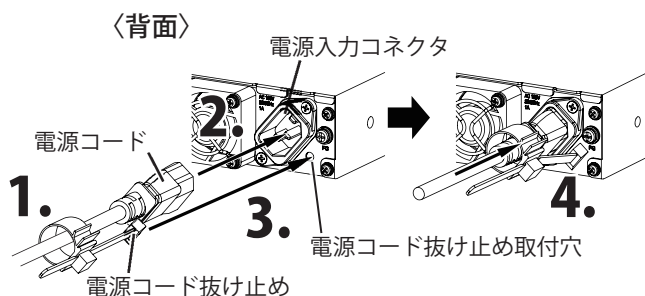
ゴム足を本体の裏に 4 箇所ネジで
しっかりと締めて、固定してください。
（推奨締付トルク：0.7N･m(7.2kgf･cm)）

電源コード抜け止めの取付かた

電源コードは電源コード抜け止めを使用して電源入力コネクタに差し込んでください。

1. 電源コードと電源コード抜け止めを結合します。
電源コードを電源コード抜け止めの輪に通します。

2. 電源コードを電源入力コネクタに差し込みます。

3. 電源コード抜け止めを電源コード抜け止め取付穴にカチッと音が鳴るまで差し込みます。

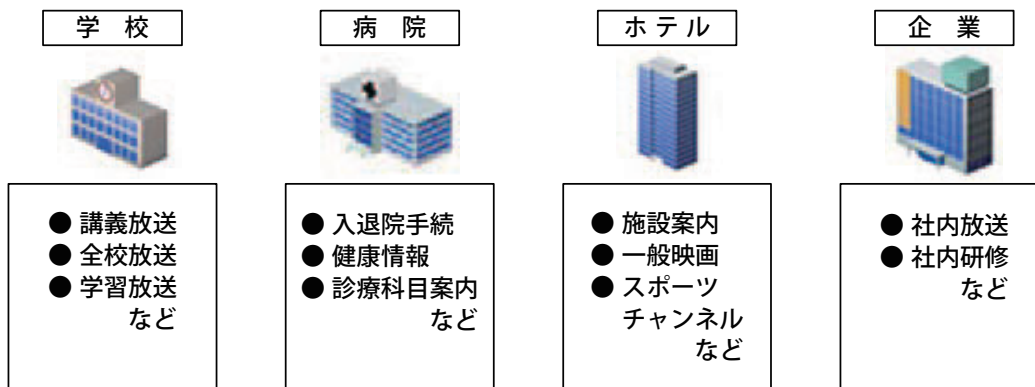
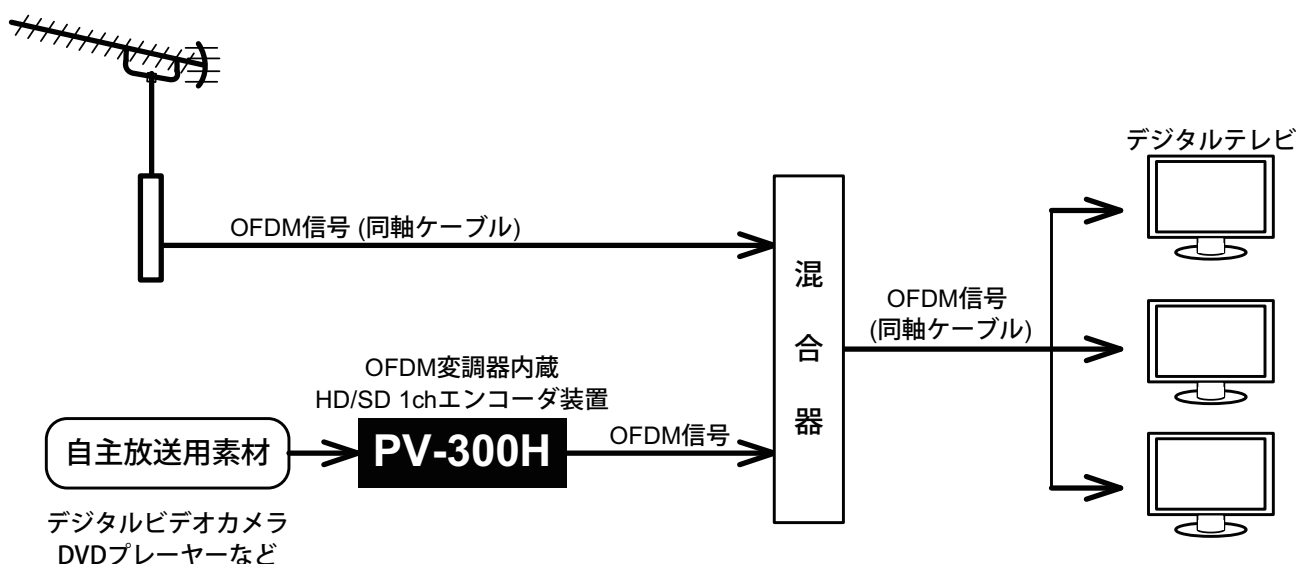
4. 電源コード抜け止めの輪を装置側へ手繰り寄せます。

1. 各部の名称と機能

本機、各部位の名称とそのはたらきを説明しています。

1-1. 概要

本機は、既存システムをそのままにデジタル自主放送を視聴する機器です。
デジタルビデオカメラを本機とつなげることで、ハイビジョン映像をデジタルテレビで視聴することができます。
また、DVD プレーヤーなどと接続し、SD(標準映像) の映像・音声送出も可能です。

1-2. システム接続例

下記に地デジ対応館内自主放送共聴システムの構成を示します。
通常の地上デジタル放送と同様に、チャンネルを合わせることで自主放送を視聴することができます。
自主放送用素材（デジタルビデオカメラ、DVD プレイヤーなど）を本機に接続し、同軸ケーブルでデジタルテレビに配線してください。

1-3. 特長

1. HD/SD エンコーダ、OFDM 変調器、時刻補正機能を 1 台に集約しました。

2. 設定 PC なしで本体の前面パネルの操作により設定が容易にできます。
   (ただし詳細設定時は設定 PC での設定が必要となります。)

3. 入力信号が HD (ハイビジョン映像) であれば、SD (標準映像) に比べ圧倒的に高品質な映像を送出、視聴できます。（HD/SD エンコーダ）

4. 自主放送送出に必要な時刻情報をインターネット環境にある NTP サーバーやワンセグ放送から取得できます。（時刻補正機能）

5. HDMI 入力端子にデジタルビデオカメラなどを接続できます。

6. 映像入力は NTSC コンポジット (アナログ) 信号、HDMI 信号から選択することができます。

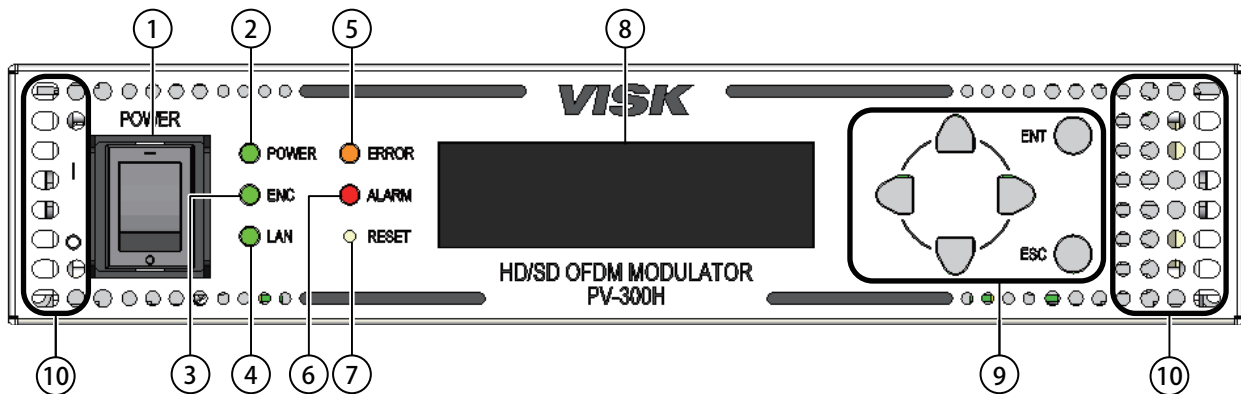
7. 音声入力はアナログ音声信号、HDMI 信号から選択することができます。

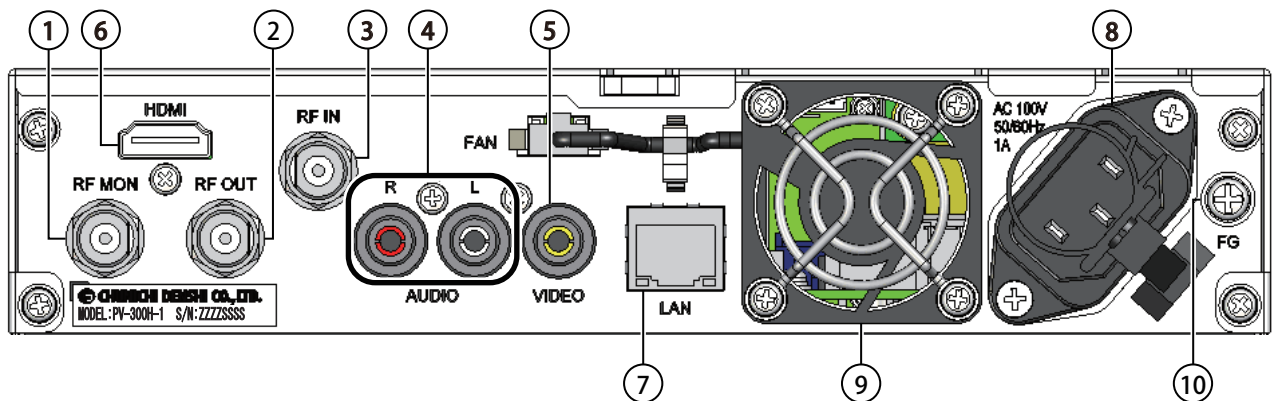
8. 設定 PC で番組表 (簡易 EPG) が作成することができます。また番組内容の表示・選択もできます。

9. ネットワーク接続により、外部からの制御も可能です。

10. 別売りのラック取付金具を使用することで、JIS または EIA ラックへの取り付けが可能です。

11. 視聴制限機能により、接続されたデータ放送に対応した各テレビに対して放送コンテンツの視聴許可および制限の制御も可能です。

1-4. 本体前面の構造と名称

No.	名称	動作
①	**POWER（スイッチ）**	電源 ON/OFF を行います。
②	**POWER（表示灯）**	POWER ON 時は緑色に点灯します。
③	**ENC**	装置動作時は緑色に点灯します。
④	**LAN**	LAN ポートのリンク確立とアクセス時は緑色に点灯します。
⑤	**ERROR**	外部要因による問題が生じた場合は橙色に点灯します。 設定ボタンと設定ディスプレイ、または設定 PC で異常内容を確認してください。
⑥	**ALARM**	ハードウェアに異常が生じた場合は赤色に点灯します。 設定ボタンと設定ディスプレイ、または設定 PC で異常内容を確認してください。
⑦	**RESET**	本機を再起動させたい場合、先端が細い木の棒などで長押し (約 5 秒間) します。（パネル面から人の指で押すことはできません） また、メンテナンス時にも使用します。 (→メンテナンスについては 82 ページをご参照ください)
⑧	**設定用ディスプレイ**	本機の設定内容、機器の状態等を表示します。
⑨	**設定ボタン**	6 個のスイッチを操作して設定用ディスプレイに表示される画面を操作します。
⑩	**空気取り入れ口**	内部の冷却用として空気を取り入れます。 空気取り入れ口の前に物を置かないようにしてください。 防塵用のフィルタは取り付けておりません。

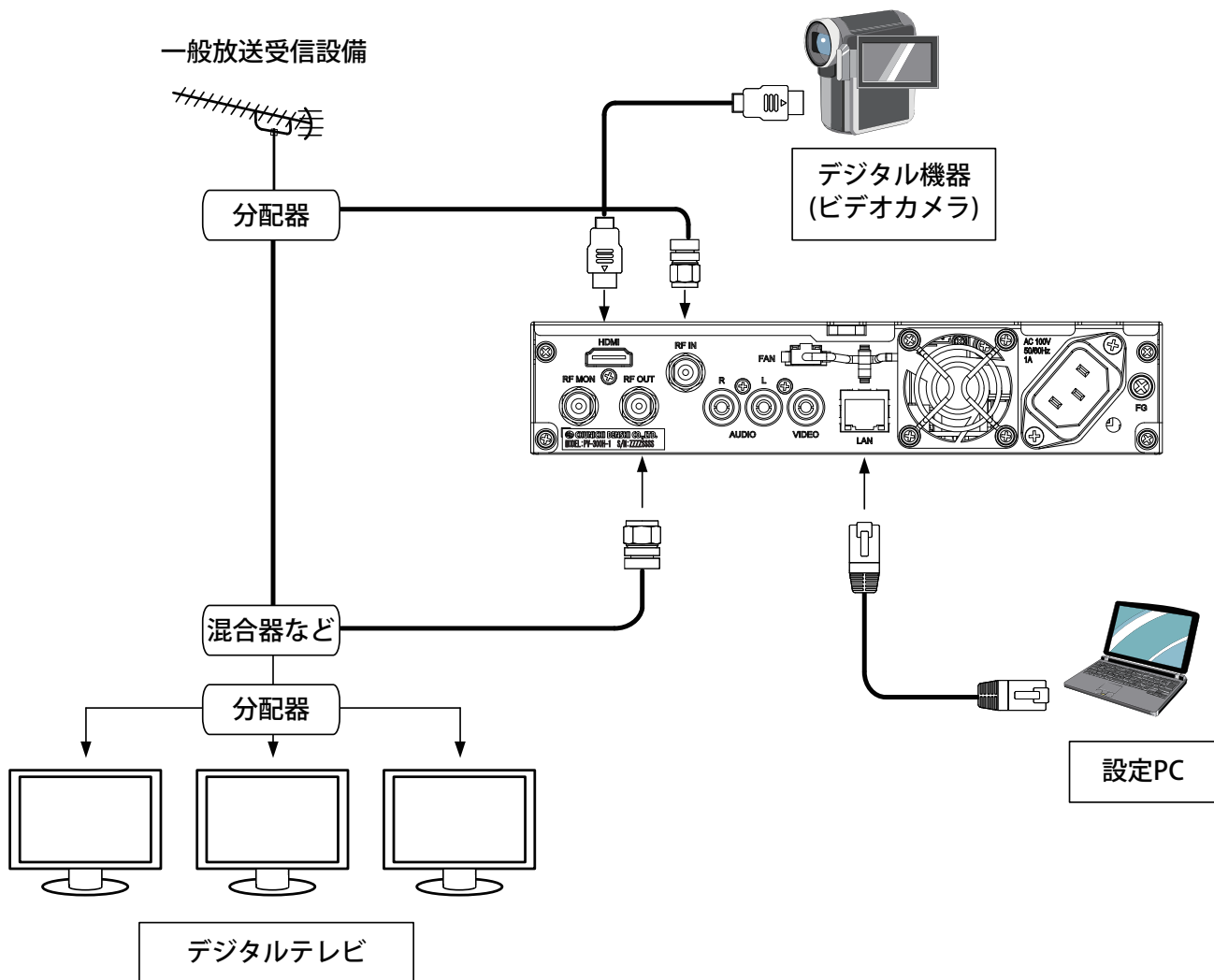
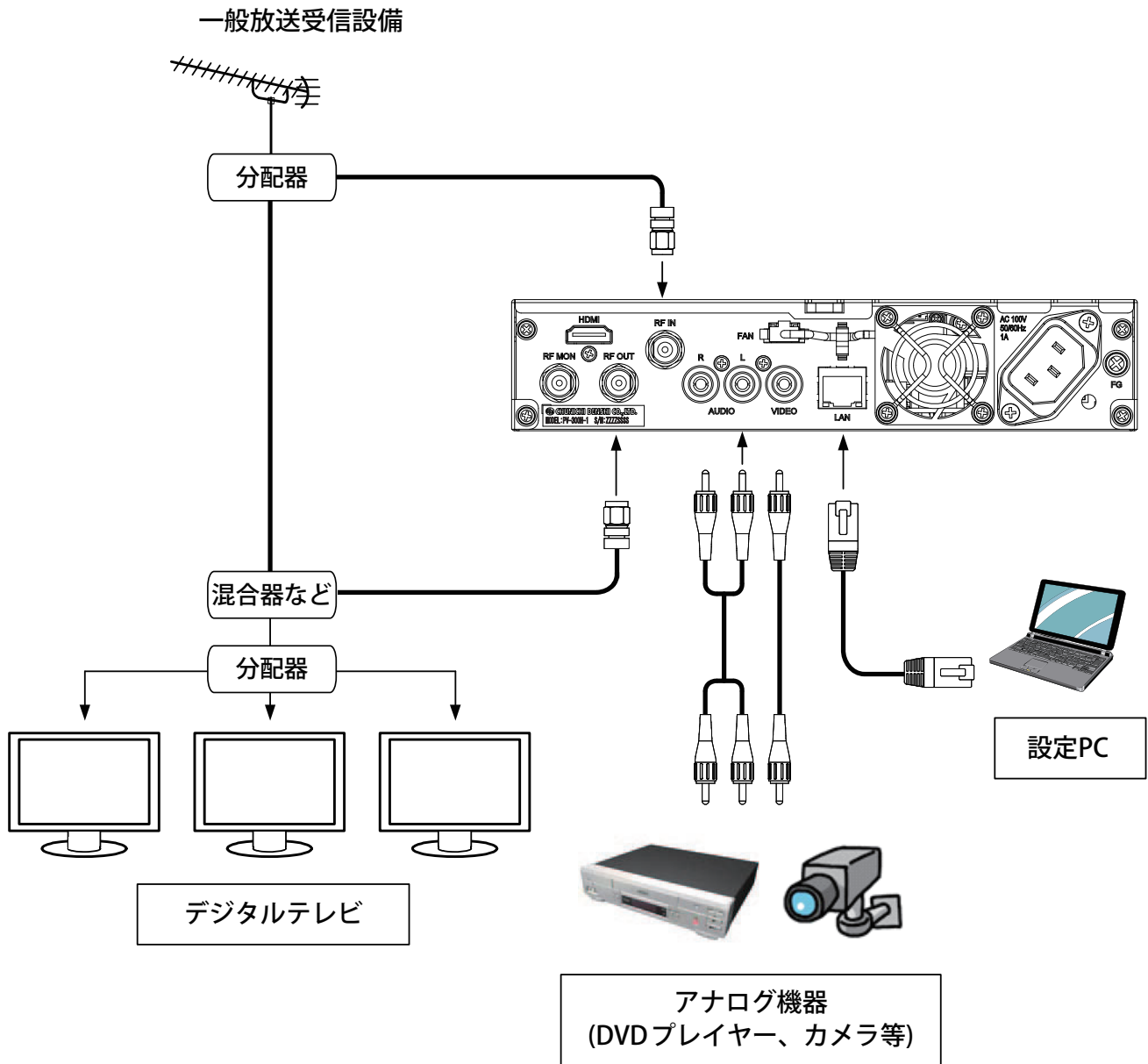
1-5. 本体背面の構造と名称

No.	名称	動作
①	**RF モニタ出力 （RF MON）**	RF モニタ出力コネクタです。モニタ用として使用します。 F 型コネクタを使用します。
②	**RF 出力 （RF OUT）**	RF 出力コネクタです。出力するテレビに接続します。 F 型コネクタを使用します。
③	**時刻情報取得コネクタ （RF IN）**	時刻情報を取得するためにワンセグ放送を受信します。 F 型コネクタを使用します。
④	**アナログ音声入力コネクタ （AUDIO L/R）**	アナログ音声入力を行うコネクタです。 RCA コネクタを L（白）/R（赤）ペアで使用します。
⑤	**アナログ映像入力コネクタ （VIDEO）**	アナログ映像を入力するコンポジット入力用 RCA コネクタです。
⑥	**HDMI 映像 / 音声入力端子 （HDMI）**	デジタル映像 / 音声入力を行う HDMI 入力コネクタです。 （HDCP 対応）
⑦	**LAN コネクタ （LAN）**	本機と設定 PC を LAN で接続し、詳細設定や状態監視 / 制御を行います。 RJ-45 コネクタを使用します。 ウェブブラウザでの設定時に使用します。
⑧	**電源入力コネクタ**	AC 電源入力用コネクタです。電源コードを差し込んで使用します。 ヒューズは内蔵電源内に取り付けられており、ヒューズが切れた場合は故障と判断します。
⑨	**FAN**	本体内部の冷却用の FAN です。 防塵用のフィルタは取り付けておりません。
⑩	**FG 接続端子 (FG)**	FG 端子として、M4 のネジ端子を搭載しています。

2. 機器の接続

2-1. 接続

本機の機材の接続例を以下に示します。

デジタル入力を使用する場合には①を、アナログ入力を使用する場合には②を参照してください。

① デジタル入力を使用する場合の接続例

② アナログ入力を使用する場合の接続例

一般放送受信設備

分配器

HDMI　RF IN　FAN　AC 100V 50/60Hz 1A

RF MON　RF OUT　R　L

AUDIO　VIDEO　LAN　FG

混合器など

分配器

設定PC

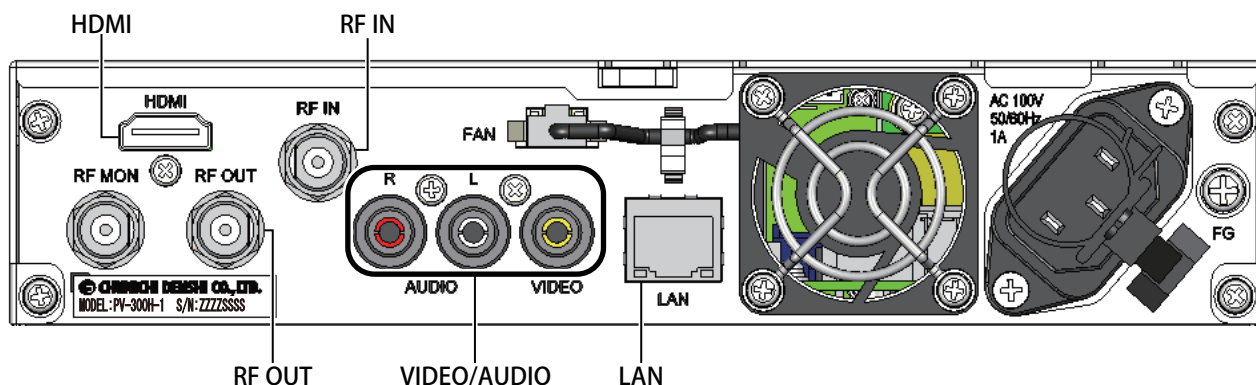
デジタルテレビ

アナログ機器
(DVD プレイヤー、カメラ等)

● LAN ケーブルの接続ついて

本機は Auto-Negotiation 機能を備えています。本機と直接 LAN ケーブルで接続する機器は Auto-Negotiation モードで接続を行ってください。
本機の接続先が固定モードの場合、正常に接続できません。

2-1-1. 各種機器との接続

以下の接続が正確にされているか確認してください。
（機器の接続参照（18 ～ 19 ページ））

名称	動作
RF IN	ワンセグにより時刻補正する場合に、地上デジタル放送が受信可能なアンテナやケーブルテレビの STB の分配出力と接続します。 ワンセグ時刻情報は、地上デジタル放送に含まれています。 特別なアンテナや受信機は必要ありません。 同軸ケーブルを使います。
HDMI	デジタル機器の HDMI 出力を接続します。 デジタル音声は映像信号に多重されて入力されます。
VIDEO /AUDIO	アナログ機器を接続します。
RF OUT	デジタルテレビなどに接続します。
LAN	設定 PC などに接続します。

● IP アドレス設定の注意

本機は、IP アドレスの自動取得に対応していません。IP アドレスのデフォルト値は固定値ですので、複数台の本機を初期設定する際には、同じ IP アドレスのまま、同時にネットワークに接続しないようにしてください。IP アドレスが重複する場合、ウェブブラウザによる設定が正常に行えません。
また、IP アドレスが同一である複数台の本機を順番にネットワークに接続し、ウェブブラウザから設定する場合、新しくネットワークに接続した本機と一時的に通信ができないことがあります。この場合には、ウェブブラウザが動作している PC の電源を入れなおしてください。

3. 設定のしかた

3-1. 設定

設定は、ウェブブラウザもしくは設定用ディスプレイを使います。

3-2. ウェブブラウザでの設定

設定名称	内容	参照ページ
かんたん設定	入力信号の選択や「放送ネットワーク設定」「簡易 EPG 設定」「時刻補正」「OFDM 設定」を一括で設定することができます。	28
詳細設定	「共通設定」「エンコード設定」各サービスにおける「サービス (番組)」「簡易 EPG 設定」を設定します。	32
ステータス	「エラー / アラーム」「ログ」「機器ステータス」の確認ができます。	42
システム設定	「基本設定」「バージョン管理」「設定値」「時刻補正」「SNMP 設定」を設定します。	47
視聴制限	「機能設定」「TV 番号選択」を設定します。	58

設定をする前に、本機と設定 PC を LAN ケーブルで接続してください。
設定 PC のネットワーク設定については「設定 PC のネットワーク設定」（22 ページ）を参照してください。
本機と接続する設定 PC の推奨動作環境は以下の通りです。

・OS：Windows XP, Vista, 7
・ウェブブラウザ：Internet Explorer 6.0, 7.0, 8.0, 9.0

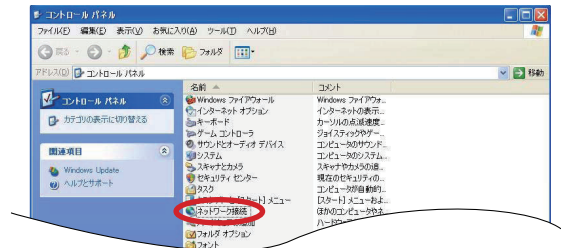
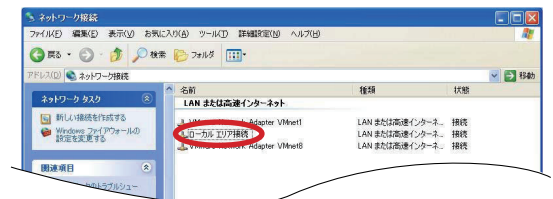
3-2-1. 設定 PC のネットワーク設定

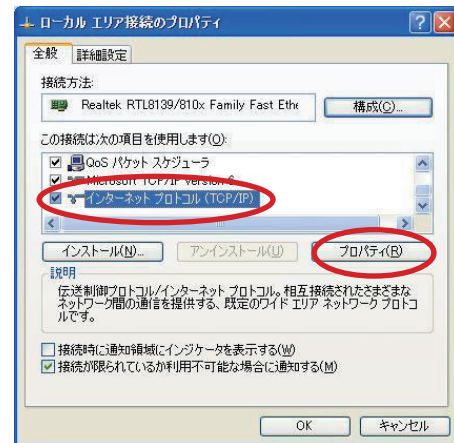
本機をネットワークに接続できるよう、以降の手順（Windows XP の画面）に従って設定 PC のネットワーク設定を変更します。

● 使用する LAN ケーブルについて

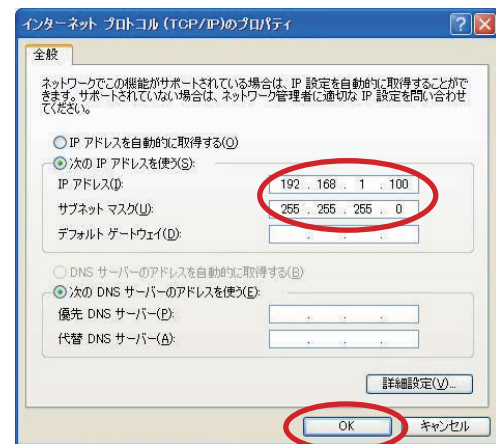
本機と設定 PC を接続する LAN ケーブルは、ストレート / クロスケーブルとも使用できます。

1. スタート画面から「コントロールパネル」を選択します。

2. 「ネットワーク接続」を選択します。

3. 「ローカルエリア接続」を選択します。

4. 「プロパティ (P)」を選択します。

5. 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択、次に「プロパティ (R)」を選択します。

6. 「次の IP アドレスを使う (S)：」を選択し、下記 2 ヵ所を設定します。

IP アドレス (I)：	192.168.1.XX ※
サブネットマスク (U)：	255.255.255.0

※. XX の箇所は本機の IP アドレスと異なるように「1 ～ 254」の数字を入力します。
(例：本機が「192.168.1.1」の場合、設定 PC は「192.168.1.100」にする。)

7. 「OK」を選択します。

画面は閉じます。

8. 設定 PC を再起動します。

3-2-2. 設定画面の表示方法

1. 電源を入れます。

2. 本機と設定 PC を LAN ケーブルで接続し、ウェブブラウザを立ち上げます。

3. 本機正面の LAN 表示灯が点灯したのを確認し、
ウェブブラウザのアドレスバーに本機の IP アドレスを入力します。

4. 以下の画面が表示されます。

タイトル画面

個別設定画面

3-2-2-1. タイトル画面内の名称

タイトル画面は「情報表示」と「設定ボタン」で構成されています。

項目			内容
情報表示	**ファームウェアバージョン**		**本機のファームウェアバージョンを表示**
	シリアルナンバー		**本機のシリアルナンバーを表示**
	ステータス	**—/ ワンセグ / NTP/**	**現在の時刻情報の取得状況を表示** 『—』: 時刻情報が取得できていない状態 『ワンセグ』: ワンセグから時刻情報が取得できている状態 『NTP』: タイムサーバー (NTP サーバー) から時刻情報が取得できている状態
		エラー	**エラー時点灯 (黄色)** 本機正面のエラー表示灯と同じ点灯をします。
		アラーム	**アラーム時点灯 (赤色)** 本機正面のアラーム表示灯と同じ点灯をします。
設定ボタン	**設定メニュータブ**		**設定メニュー (大項目) を切替え** 項目により中項目のメニュータブを表示します。
	設定		**各設定メニュー (大項目) で設定を確定させるときに押す。** 設定 を押す → Web ページからのメッセージ 設定しますか？ OK　キャンセル 設定する　キャンセルする
	デフォルト		**各設定メニュー (大項目) の設定項目にデフォルト値をロードします。** 設定 ボタンを押すまでは、現在の設定値が維持されます。

3-2-2-2. 個別設定画面について

各設定メニューを表示する画面です。

1. 設定メニュータブ（大項目）のいずれかを選択します。

かんたん設定	詳細設定	ステータス	システム設定	視聴制限

2. 大項目の下に中項目が表示されます。

かんたん設定	詳細設定	ステータス	システム設定	視聴制限
エラー/アラーム	ログ	機器ステータス		

大項目	中項目	説明
かんたん設定		HDMI 入力、アナログ入力の選択と各設定を一括で設定します。
詳細設定	**共通設定**	放送の出力設定をします。 (放送ネットワーク設定、OFDM 設定)
	エンコード設定	内蔵エンコーダ、テストパターンの設定をします。
	サービス	内蔵エンコーダのサービス (番組の出力) 設定をします。
ステータス	**エラー / アラーム**	本機で発生中のエラー / アラームを表示します。
	ログ	本機のログを表示します。
	機器ステータス	電圧、温度、FAN の状態を表示します。
システム設定	**基本設定**	システム基本情報を設定します。
	バージョン管理	ファームウェアのバージョンアップ実行と現在のバージョンを表示します。
	設定値	本機の動作設定ファイルの書込み・読出しと工場出荷時状態に戻す設定をします。
	時刻補正	時刻情報の取得方法 (時刻補正) を設定します。
	SNMP 設定	SNMP エージェントの動作を設定します。
視聴制限	**機能設定**	視聴制限機能の OFF/ON および動作モード、TV への TV 番号の設定操作の許可、視聴制限中に表示するメッセージ、FTP の設定をします。
	TV 番号選択	視聴を許可する TV 番号を設定します。

3-3. 各種設定

3-3-1. かんたん設定　※ 面倒な設定が不要な簡易設定です。

入力信号の選択や「放送ネットワーク設定」「簡易 EPG 設定」「時刻補正」「OFDM 設定」を一画面で設定します。

1. かんたん設定 を選択します。 → かんたん設定 に変わります。

2. 以下の画面が表示されます。

A. 放送ネットワークの設定をします

項目	内容
地域識別割り当て	**地域識別割り当てを選択します。** 原則、本機を設置する都道府県または地域を指定してください。 関東広域、近畿広域、中京広域、北海道域、岡山・香川、島根・鳥取 も選択可能ですが、これらは自主放送では使用しません。 地域識別割り当てを変更するとワンセグ物理チャンネルが地域別のデフォルト値に変更されます。 「複数台の OFDM 変調器の出力サービス（チャンネル）を RF 混合して運用する場合の注意」（34 ページ）も参照してください。
地域事業者識別	**地域事業者識別を選択します。** 原則、「O(14)」を指定してください。 「O(14)」以外に設定する場合には、地域識別割り当てに指定した地域の地上デジタル放送事業者（テレビ局）が使用していない値を選択してください。 「P(15)」は、ケーブルテレビ事業者による自主放送を受信している場合は、本機の地域事業者識別に指定できません。 「P(15)」以外の地域事業者識別の各地域における使用状況は、以下のドキュメントに記載されています。 社団法人 電波産業会 発行 地上デジタルテレビジョン放送運用規定 ARIB TR-B14　第三分冊 第七編 地上デジタルテレビジョン放送 送出運用規定 9-2　識別子一覧 このドキュメントは、次のウェブサイトより入手することができます。 http://www.arib.or.jp/
リモコンキー ID	**リモコンキー ID を選択します。**（デフォルトは 11） ■リモコンキー ID は下記以外を選択してください。 • 地上デジタル放送事業者（テレビ局）が使用しているリモコンキー ID • ケーブルテレビが使用しているリモコンキー ID（受信している場合） ケーブルテレビが使用しているリモコンキー ID は、次のウェブサイトより入手できます。 http://www.catv-jcta.jp/ ■地上デジタル放送やケーブルテレビと自主放送を混在する場合に、いずれかのテレビ局と同じリモコンキー ID を自主放送に重複指定した場合、テレビの「チャンネル設定」機能が、受信レベルの低い方を未使用のリモコンキー ID に代替割当するなどの調整を行います。 なお、テレビにおいてリモコンキーの再割り当てをすることができます。 詳しくは使用するテレビの取扱説明書を参照してください。 ■「複数台の OFDM 変調器の出力サービス（チャンネル）を RF 混合して運用する場合の注意」（34 ページ）も参照してください。

項目	内容
放送周波数	**放送周波数を選択します。** 空きチャンネルに設定してください。
3 桁チャンネル番号	**リモコンキー ID に連動して、サービスの 3 桁チャンネル番号を表示します。** 3 桁チャンネル番号の 3 桁目は 1 です。「かんたん設定」では、サービスのサービス番号は 0 固定です。 リモコンキー ID が他のテレビ局や OFDM 変調器からの出力サービスと重複する場合には、テレビによって未使用のリモコンキー ID に代替割り当てされることがあります。その場合でも 3 桁チャンネル番号の上位 2 桁には、指定したリモコンキー ID が適用されます。 なお、テレビは同じ 3 桁チャンネル番号を要求する複数のサービスを受信した場合、3 桁チャンネル番号の後ろに 111-0 のように「枝番」を付けます。 詳しくは使用するテレビの取扱説明書を参照してください。

B. EPG 出力情報を設定します

項目	内容
イベント名称	**テレビの番組表や番組情報、視聴・録画予約画面に表示されます。** 番組名に相当します。（空白は設定できません）
イベント内容	**テレビの番組表や番組情報、視聴・録画予約画面に表示されます** 番組説明に相当します。（空白は設定できません）

C. 時刻情報の取得に関する設定をします

項目	内容
NTP サーバーアドレス	**NTP による時刻補正時に参照するサーバーの IP アドレスを入力します。** NTP を使用するときは最低 1 つは入力してください。 複数のサーバーを指定した場合は最初の NTP サーバーを優先します。 IP アドレス入力例：192.168.1.100
ワンセグ物理チャンネル	**時刻情報をワンセグチャンネルから取得する場合に、受信するチャンネルを選択します。** 補正方法に「NTP →ワンセグ」、「ワンセグ」を選択した場合に適用されます。

D. OFDM 設定

項目	内容
出力レベル	RF 出力レベルを設定します。 90 ～ 110dBμV で 1dBμV 刻みに設定できます。

● かんたん設定での運用時の注意

「かんたん設定」で設定すると、「詳細設定」（32 ページ参照）での「共通設定」「エンコード設定」「サービス」が推奨値により構成されます。

● 放送周波数について

VHF：1ch ～ 12ch は、2011 年 7 月 24 日のデジタル化完全移行後、テレビ放送以外の目的に再割り当てされます。ご注意ください。UHF の 53ch ～ 62ch は、2012 年 7 月 25 日以降、テレビ放送以外の目的に再割り当てされます。ご注意ください。C24ch ～ C27ch は、受信できないテレビがあります。

3-3-2. 詳細設定

「かんたん設定」で設定済みの場合は、設定した内容が確認できます。

共通設定 「放送ネットワーク設定」「OFDM 設定」の設定をします。

1. 詳細設定 を選択します。 → 詳細設定 に変わります。

2. 共通設定 を選択します。 → 共通設定 に変わります。

「共通設定」に切替わっていることを確認します。

3. 以下の画面が表示されます。

A. 放送ネットワークの設定をします

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>TS 名称</td><td>テレビの番組表や番組情報、視聴・録画予約画面に表示されます。
(テレビの仕様によります)
「TS 名称」はテレビ放送局名に相当します。</td></tr>
<tr><td>地域識別割り当て</td><td>地域識別割り当てを選択します。
原則、本機を設置する都道府県または地域を指定してください。
関東広域、近畿広域、中京広域、北海道域、岡山・香川、島根・鳥取 も選択可能ですが、これらは自主放送では使用しません。
地域識別割り当てを変更するとワンセグ物理チャンネルが地域別のデフォルト値に変更されます。
「複数台の OFDM 変調器の出力サービス（チャンネル）を RF 混合して運用する場合の注意」（34 ページ）も参照してください。</td></tr>
<tr><td>地域事業者識別</td><td>地域事業者識別を選択します。
原則、「O(14)」を指定してください。
「O(14)」以外に設定する場合には、地域識別割り当てに指定した地域の地上デジタル放送事業者（テレビ局）が使用していない値を選択してください。
「P(15)」は、ケーブルテレビ事業者による自主放送を受信している場合は、本機の地域事業者識別に指定できません。
「P(15)」以外の地域事業者識別の各地域における使用状況は、以下のドキュメントに記載されています。
社団法人 電波産業会 発行
地上デジタルテレビジョン放送運用規定
ARIB TR-B14　第三分冊
第七編 地上デジタルテレビジョン放送 送出運用規定
9-2　識別子一覧
このドキュメントは、次のウェブサイトより入手することができます。
http://www.arib.or.jp/</td></tr>
<tr><td>リモコンキー ID</td><td>リモコンキー ID を選択します。（デフォルトは 11）
■リモコンキー ID は下記以外を選択してください。
• 地上デジタル放送事業者(テレビ局)が使用しているリモコンキー ID
• ケーブルテレビが使用しているリモコンキー ID（受信している場合）
ケーブルテレビが使用しているリモコンキー ID は、次のウェブサイトより入手できます。
http://www.catv-jcta.jp/
■ 地上デジタル放送やケーブルテレビと自主放送を混在する場合に、いずれかのテレビ局と同じリモコンキー ID を自主放送に重複指定した場合、テレビの「チャンネル設定」機能が、受信レベルの低い方を未使用のリモコンキー ID に代替割当するなどの調整を行います。
なお、テレビにおいてリモコンキーの再割り当てをすることができます。
詳しくは使用するテレビの取扱説明書を参照してください。
■「複数台の OFDM 変調器の出力サービス（チャンネル）を RF 混合して運用する場合の注意」（34 ページ）も参照してください。</td></tr>
</table>

項目	内容
放送周波数	放送周波数を選択します。 空きチャンネルに設定してください。

● **放送周波数について**

VHF：1ch ～ 12ch は、2011 年 7 月 24 日のデジタル化完全移行後、テレビ放送以外の目的に再割り当てされます。ご注意ください。UHF の 53ch ～ 62ch は、2012 年 7 月 25 日以降、テレビ放送以外の目的に再割り当てされます。ご注意ください。C24ch ～ C27ch は、受信できないテレビがあります。

● **複数台の OFDM 変調器の出力サービス（チャンネル）を RF 混合して運用する場合の注意**

複数の OFDM 変調器（本機および別機種）を設置し、自主放送を複数サービス（チャンネル）運用する場合には、設定時に以下の点にご注意ください。
なお、複数台の本機を設定する場合には、「かんたん設定」ではなく、「詳細設定」の「共通設定」による設定を推奨します。
一般的に販売されている地上デジタル対応のデジタルテレビは社団法人 電波産業界（ARIB）が規定した ARIB 規格に準じて製作されており、本製品も ARIB 規格に準じて製作しております。
本製品を運用する場合、社団法人 デジタル放送推進協会（Dpa）にて策定されている「館内自主テレビ放送における識別子等ガイドライン」に基づく設定をお願い致します。

- 「放送周波数」を別々の値にしてください。
- 「リモコンキー ID」を別々の値にしてください。
- 「地域事業者識別」を別々の値にしてください。
- IP アドレスを別々の値にしてください。

B. OFDM 設定

項目	内容
出力レベル	RF 出力レベルを設定します。 90 ～ 110dBμV で 1dBμV 刻みに設定できます。

エンコード設定

「エンコード設定」「テストパターン」の設定をします。

1. 詳細設定 を選択します。 → 詳細設定 に変わります。

2. エンコード設定 を選択します。 → エンコード設定 に変わります。

「エンコード設定」に切替わっていることを確認します。

3. 以下の画面が表示されます。

エンコード設定

A 入力

入力信号	◉ デジタル(HDMI IN)	○ アナログ(VIDEO IN)	
入力解像度	◉ HD	○ SD	○ 自動認識
カラースペース	◉ RGB	○ YCbCr 4:4:4	○ YCbCr 4:2:2
映像情報	No Signal		

B 出力

水平画素数(HD)	◉ 1920	○ 1440

C ビットレート

a HD設定

TSレート	19
映像レート	15.9 Mbps
音声レート	192 Kbps

b SD設定

TSレート	6
映像レート	- Mbps
音声レート	- Kbps

D 映像

映像表示モード	◉ ノーマル	○ ワイド	○ ズーム
シャープネス	○ なめらか	○ 標準	◉ くっきり
入力断時表示	◉ 最終フレーム	○ ブルーバック 検出時	

E 音声

入力信号	◉ デジタル(HDMI IN)	○ アナログ(AUDIO IN)
モード選択	◉ ステレオ	○ デュアルモノラル
音声遅延	0 × 10 msec	

F テストパターン

a 映像

- ◉ なし
- ○ テストパターン1(カラーバー)
- ○ テストパターン2(スクロールカラーバー)

b 音声

- ◉ なし
- ○ テストパターン1(1KHz,-18dBFS)
- ○ テストパターン2(1KHz,-20dBFS)

A. 映像入力設定をします

項目	内容
入力信号	映像入力信号 (デジタル入力 / アナログ入力) を選択します。
入力解像度	入力解像度を選択します。 自動認識は HD/SD を自動で認識します。 入力信号が HDMI である場合には、カラースペースも自動認識します。 （HDMI 出力装置によって自動認識しない場合があります）
カラースペース	カラースペース (RGB/YCbCr 4:4:4/YCbCr 4:2:2) を設定します。 （入力信号が HDMI で入力解像度が HD または SD を選択している場合）
映像情報	入力映像の情報を表示します。

B. 映像出力設定をします

項目	内容
水平画素数（HD）	水平画素数（1920/1440）を選択します。 （入力解像度が HD のときに有効になります）

C. ビットレートの設定、表示をします

a. HD 映像設定の場合

項目	内容
TS レート	TS レート（13/14/15/16/17/18/19/20Mbps）を選択します。 後述の「●最大ビットレートについて」もお読みください。
映像レート	動作中の映像レートを表示します。
音声レート	動作中の音声レートを表示します。

b. SD 映像設定の場合

項目	内容
TS レート	TS レート (3/4/5/6/7/8/9/10/11/12Mbps) を選択します。
映像レート	動作中の映像レートを表示します。
音声レート	動作中の音声レートを表示します。

D. 映像に関する設定をします

項目	内容
映像表示モード	テレビに表示されるときのサイズを選択します。 ノーマル　：映像をそのまま映します。 ワイド　　：映像を左右に拡大します。 ズーム　　：映像全体を拡大します。
シャープネス	映像の輪郭の見え方（なめらか / 標準 / くっきり）を選択します。
入力断時表示	入力信号が断時の画面表示を選択します。 最終フレーム：入力断時の画面を保持します。 ブルーバック： ブルーバック画面にします。 切替えるタイミング（検出時 /5 秒後 /10 秒後）を選択します。

E. 音声に関する設定をします

項目	内容
入力信号	音声入力信号（デジタル（HDMI IN）/ アナログ（AUDIO IN））を選択します。 デジタル入力（HDMI IN）は、入力信号がデジタル (HDMI IN) である場合にのみ選択可能です。
モード選択	音声モード（ステレオ / デュアルモノラル）を選択します。
音声遅延	音声遅延時間を半角数字で入力します。 設定範囲：（0 ～ 100）× 10ms（最大 1 秒）

● 最大ビットレートについて

最大ビットレート：TS レート =20 にて HD 映像を送出している場合に、サービスの出力映像・音声が乱れる場合には、TS レートを 19 に変更してください。
この処置は、視聴制限機能を有効にしている場合に必要となります。
TS レート =20 は、映像・音声のみを送出する場合の最大ビットレートです。
視聴制限機能有効時には、映像・音声の他に、データ放送（付加データ）が送出されます。このため、映像・音声の送出に利用できる最大ビットレートが低下します。

●「映像表示モード」について

デジタルテレビには、リモコンの「画面サイズ」、「画面モード」、「ワイド切換」といったボタンによる画面サイズの設定機能があります。このテレビ側の設定と、本機の「映像表示モード」との関係は、以下となります。

・テレビのリモコンボタン操作による画面サイズの指示は、本機の「映像表示モード」による指示よりも優先されます。
本機の「映像表示モード」は、
■ テレビを電源 ON とした際の画面サイズの初期状態の指示
です。
なお、テレビのリモコンによる画面サイズの指示が保持される期間＝本機の「映像表示モード」によって画面サイズが変更されるタイミングは、テレビのモデルや設定状態により異なります。
本機の「映像表示モード」による指示が、実際のテレビの画面サイズに反映されない場合には、まず、テレビの電源を入れ直してください。自主放送チャンネルを再選局しても、画面サイズが変わらないモデルがあります。

・テレビ側の設定によっては、本機の「映像表示モード」が無視される場合があります。
画面サイズが期待通りに表示されない場合には、テレビ側の画面サイズに関する設定をお確かめください。詳細は、各テレビの取扱説明書を参照してください。
■ 本機の「映像表示モード」が無視されるテレビの設定例：
2010 年製 SONY：「画質・映像設定」－「画像モード」－「オートワイド」が「切」である場合、本機の「映像表示モード」は無視されます。
「オートワイド」は「入」とし、「4:3 映像」を「切」または「ノーマル」としてください。

・本機の「映像表示モード」を「ノーマル」とした場合の動作は、テレビのモデルにより異なります。
(A) 「ノーマル」を「サイズを変更しない」表示モードと解釈し、電源 ON 時に「そのままの縦横比」にて表示を開始するテレビ
(B) 「ノーマル」を「サイズ変更が指示されていない」表示モードと解釈し、電源 ON 時に「前回のテレビの画面サイズ指定」を継続するテレビ
(B) のタイプのテレビにおいて、「そのままの縦横比」にて映像を表示したい場合には、本機の「映像表示モード」を「ノーマル」にするとともに、テレビ側の「画像サイズ」指定も、リモコンにて「ノーマル」に変更してください。

F. テストパターンを設定します

a.

項目	内容
映像	映像出力のテストパターン を選択します。 （なし / テストパターン 1（カラーバー）/ テストパターン 2（スクロールカラーバー））

b.

項目	内容
音声	音声出力のテストパターンを選択します。 （なし / テストパターン 1（1KHz、-18dBFS）/ テストパターン 2（1KHz、-20dBFS）

サービス　サービス構成の設定をします。

1. 詳細設定 を選択します。 → 詳細設定 に変わります。

2. サービス を選択します。 → サービス に変わります。

3. 以下の画面が表示されます。

A.

項目	内容
サービス名称	テレビの番組表や番組情報、視聴・録画予約画面に表示されます※。 「サービス名称」は編成チャンネル名に相当するものです。(空白は設定できません) ※. テレビの仕様によって表示されない場合があります。

B.

項目	内容
3 桁チャンネル番号	任意の 3 桁チャンネル番号を選択します。
サービス番号	3 桁チャンネル番号の選択に連動して表示します。
サービス ID	3 桁チャンネル番号の選択に連動して表示します。

C. 簡易 EPG 設定

項目	内容
開始時刻	開始時刻を選択します。
終了時刻	終了時刻を選択します。
イベント名称	イベント名称を入力します。(全角で 40 文字以内) テレビの番組表や番組情報、視聴・録画予約画面に表示されます。 (空白は設定できません)
イベント内容	イベント内容を入力します。(全角で 80 文字以内) テレビの番組表や番組情報、視聴・録画予約画面に表示されます。 (空白は設定できません)
ジャンル大	ジャンル大を選択することができます。
ジャンル小	ジャンル小を選択することができます。
出力解像度 (EPG 表示)	現在設定している出力解像度を表示します。
音声モード (EPG 表示)	現在設定している音声モードを表示します。

● ジャンルについて

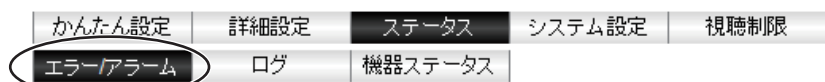
「ジャンル」は、テレビの番組表や番組情報、視聴・録画予約画面に表示されます。また、テレビの番組検索機能において利用されます。なお「ジャンル」の扱いはテレビの仕様により異なります。多くのテレビでは、簡素化されており、本機の「ジャンル大」と「ジャンル小」とは完全には一致しません。

3-3-3. ステータス

ステータスには「エラー / アラーム」「ログ」「機器ステータス」の 3 種類があります。

エラー / アラーム 発生中のエラーとアラームの情報を表示します。

1. ステータス を選択します。 → ステータス に変わります。

2. エラー / アラーム を選択します。 → エラー / アラーム に変わります。

「エラー / アラーム」に切替わっていることを確認します。

3. 以下の画面が表示されます。

A. エラー

エラー情報を表示します。

B. アラーム

アラーム情報を表示します。

C. 更新周期

画面の自動更新周期を選択します。(停止 /5/10/30 秒毎)

D. 設定

選択した自動更新周期で画面更新します。

E. 表示更新

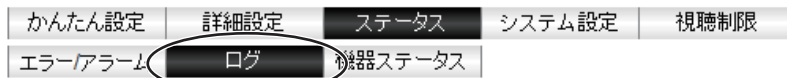
画面表示更新します。

● 更新周期について

「更新周期」は、画面の再描画が完了してから、次の画面更新を開始するまでの待機時間を指定するものとお考えください。
ウェブブラウザおよび HTML の特性等により、通信および画面の再描画の時間が別途かかります。

ログ 発生中または発生したログ情報を表示します。

1. ステータス を選択します。 → ステータス に変わります。

2. ログ を選択します。 → ログ に変わります。

「ログ」に切替わっていることを確認します。

3. 以下の画面が表示されます。

A. 更新周期

ログの自動更新周期を選択します。(停止 /5/10/30 秒毎)

B. 設定

選択した自動更新周期で画面更新します。

C. 表示件数

ログの表示件数を選択します。 (100 件 / 500 件 / 1000 件 / すべて)

D. 表示更新

画面を表示更新します。
自動更新中は、本ボタンはクリックできません。

E. 装置から読出し

現在記録されているすべてのログを設定用 PC のハードディスクなどの外部の記憶装置にファイル保存します。

※表示中や表示件数とは無関係に記録されているすべてのログが対象となります。

F. クリア

現在記録されているすべてのログを消去します。

※表示中や表示件数とは無関係に記録されているすべてのログが対象となります。

● **ログに関する情報**

ログは最大 2000 件保持されています。2000 件を超えると保持されている最も古いログから順に削除され、新しいログが表示されます。

● **更新周期について**

「更新周期」は、画面の再描画が完了してから、次の画面更新を開始するまでの待機時間を指定するものとお考えください。
ウェブブラウザおよび HTML の特性等により、通信および画面の再描画の時間が別途かかります。

● **ログ内容について**

ログ表示の詳細内容は「ログ内容詳細」(84 ページ参照) を確認してください。

機器ステータス

内部電圧値、温度、FAN の稼動状態を表示します。

1. ステータス を選択します。 → ステータス に変わります。

2. 機器ステータス を選択します。 → 機器ステータス に変わります。

3. 以下の画面が表示されます。

機器ステータス

電圧	+5.0V	+4.0V	+3.0V	+1.5V	+0.9V	+5.5V	+1.0V	+1.2V	+1.25V	+1.8V
	正常	正常	正常	正常	正常	正常	正常	正常	正常	正常
	+2.5V	+3.3V	+1.8V_S	+3.0V_S	+3.0V_BAT					
	正常	正常	正常	正常	正常	--	--	--	--	--
温度	34.2℃	※-20℃~70℃の範囲を正常とする								
FAN	正常									

A. 更新周期

機器ステータスの自動更新周期 (停止 /5/10/30 秒毎) を選択します。

B. 設定

選択した自動更新周期で画面更新します。

C. 表示更新

画面を表示更新します。自動更新中は、本ボタンはクリックできません。

D. 電圧値

構成基板および内蔵時計のバックアップ電池の電圧値の状態 (正常 / 異常) を表示します。

E. 温度

装置内部の温度を表示します。

F. FAN

FAN の状態 (正常 / 異常) を表示します。

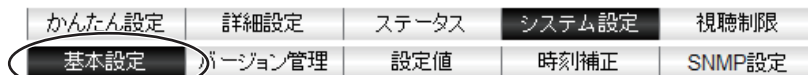
3-3-4. システム設定

システム設定には「基本設定」「バージョン管理」「設定値」「時刻補正」「SNMP 設定」の 5 種類があります。

基本設定 システムの基本情報を設定します。

IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの設定と MAC アドレスの閲覧をすることができます。

1. システム設定 を選択します。 → システム設定 に変わります。

2. 基本設定 を選択します。 → 基本設定 に変わります。

「基本設定」に切替わっていることを確認します。

3. 以下の画面が表示されます。

ネットワーク設定　MACアドレス

A ネットワーク設定
IPv4
IPアドレス 192.168.1.1
サブネットマスク 255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ

B MACアドレス
00:00:00:00:00:00

A. IPv4

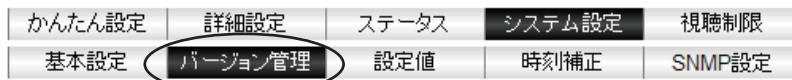
項目	内容
IP アドレス	本機の IP アドレスを入力します。
サブネットマスク	本機のサブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイ	本機のデフォルトゲートウェイを入力します。

B. MAC アドレス

本機の MAC アドレスを表示します。

バージョン管理 ファームウェアのバージョンアップの実行と現在のバージョンを表示します。

1. システム設定 を選択します。 ➡ システム設定 に変わります。

2. バージョン管理 を選択します。 ➡ バージョン管理 に変わります。

「バージョン管理」に切替わっていることを確認します。

3. 以下の画面が表示されます。

A. バージョンアップ

項目	内容
ファイル選択	参照ボタンを押してバージョンアップファイルを選択します。 選択した状態で実行ボタンを押すとバージョンアップを行います。
強制上書き	チェックした状態でバージョンアップを行うと全てのファイルを強制的にアップデートします。

● バージョンアップについて

バージョンアップ中は電源を切らないでください。
故障の原因となることがあります。
なお、バージョンアップ中は本体前面の表示灯が以下のように変化します。

1. ERROR および ALARM が交互に点滅 (ファームウェア更新中)
2. POWER が点滅 (再起動中)
3. POWER が点灯 (バージョンアップ完了)

B. バージョン

項目	内容
総合	システム総合バージョンを表示します。
システム制御 CPU (SYS)	システム制御 CPU (SYS) のバージョンを表示します。
システム制御 CPU (APP)	システム制御 CPU (APP) のバージョンを表示します。
映像コーデック	映像コーデックのバージョンを表示します。
音声コーデック	音声コーデックのバージョンを表示します。
OFDM 制御 CPU	OFDM 制御 CPU のバージョンを表示します。
起動制御 CPU	起動制御 CPU のバージョンを表示します。
CPLD	CPLD のバージョンを表示します。
FPGA	FPGA のバージョンを表示します。

設定値

動作設定ファイルの書き込み、読み出しと工場出荷時の状態に戻す設定をします。

1. システム設定 を選択します。 ⟶ システム設定 に変わります。

2. 設定値 を選択します。 ⟶ 設定値 に変わります。

「設定値」に切替わっていることを確認します。

3. 以下の画面が表示されます。

A. 設定ファイル

項目	内容
装置へ書込み	参照ボタンを押して設定ファイルを選択します。 選択した状態で実行ボタンを押すと書き込みます。
装置から読出し	現在運用している設定状態を設定 PC のハードディスクなどの外部の記憶装置にファイル保存します。

設定ファイルはテキスト形式です。
読込み時のファイル名は、英数字や "_" のみの名称としてください。
日本語名や "(" などの記号を含む名前は使用しないでください。
装置からの読出し時の既定のファイル名は param.ini ですが、読込み時のファイル名は *.ini である必要はありません。

● **設定ファイルについて**
設定ファイル書き込み中および工場出荷時設定中は電源を切らないでください。
設定ファイルの内容はお客様で編集しないでください。
故障の原因となることがあります。

B. 工場出荷時設定

実行ボタンを押すことで、すべての設定内容を工場出荷時の設定にします。
工場出荷時の設定については 50 〜 51 ページの表を参照してください。

設定項目					出荷設定
かんたん設定	映像入力信号設定			入力信号	HDMI 映像 /HDMI 音声
	放送ネットワーク設定			地域識別割り当て	東京都
				地域事業者識別	O（14）
				リモコンキー ID	11
				3 桁チャンネル番号 ※ 1	111
				放送周波数	C23(225MHz)
	簡易 EPG 設定			イベント名称	自主放送 1
				イベント内容	自主放送内容 1
	時刻補正			NTP サーバーアドレス	なし
				ワンセグ物理チャンネル	ch.27(557MHz)
	OFDM 設定			出力レベル	105dBuV
詳細設定	共通設定	放送ネットワーク設定		TS 名称 ※ 2	自主放送 TS
				地域識別割り当て	東京都
				地域事業者識別	O（14）
				リモコンキー ID	11
				放送周波数	C23(225MHz)
		OFDM 設定		出力レベル	105dBuV
	エンコード設定	入力		入力信号	デジタル (HDMI IN)
				入力解像度 ※ 2	自動認識
				映像情報 ※ 1	No Signal
		出力		水平画素数 (HD) ※ 2	1440
		ビットレート	HD 設定	TS レート ※ 2	19
				映像レート ※ 1	15.9Mbps
				音声レート ※ 1	192Kbps
			SD 設定	TS レート ※ 2	6
				映像レート ※ 1	-
				音声レート ※ 1	-
		映像		映像表示モード	ノーマル
				シャープネス	くっきり
				入力断時表示	最終フレーム
		音声		入力信号	デジタル (HDMI IN)
				モード選択 ※ 2	ステレオ
				音声遅延	0 × 10ms
		テストパターン		映像 ※ 2	なし
				音声 ※ 2	なし
	サービス	サービス（番組）	サービス名称 ※ 2		サービス 1
			3 桁チャンネル番号 ※ 1		111
			サービス番号 ※ 2		0
			サービス ID ※ 1		0x5C70
			簡易 EPG 設定	開始時刻 ※ 2	00 時 00 分
				終了時刻 ※ 2	24 時 00 分
				イベント名称	自主放送 1
				イベント内容	自主放送内容 1
				ジャンル大 ※ 2	その他
				ジャンル小 ※ 2	その他
				出力解像度 (EPG 表示) ※1	HD 1080i 16:9
				音声モード (EPG 表示) ※1	ステレオ

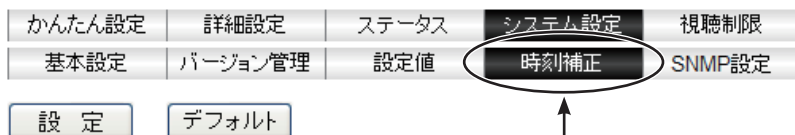
設定項目					出荷設定
ステータス	エラー / アラーム		自動更新周期 ※ 3		停止
	ログ		自動更新周期 ※ 3		停止
			表示件数 ※ 3		100 件
	機器ステータス		自動更新周期 ※ 3		停止
システム設定	基本設定	ネットワーク設定	IP アドレス		192.168.1.1
			サブネットマスク		255.255.255.0
			デフォルトゲートウェイ		なし
		MAC アドレス ※ 1			機器固有アドレス
	時刻補正	時刻補正方法	補正方法 ※ 2		NTP →ワンセグ
			補正エラー検出有効		チェックあり
			NTP サーバー	IP アドレス 1 ～ 3	なし
			ワンセグ	物理チャンネル	ch.27(557MHz)
	SNMP 設定	基本設定	動作設定		無効
		ユーザー設定	ユーザー名		なし
			パスワード		なし
			認証形式		SHA
			暗号化形式		AES
視聴制限	機能設定	基本設定	動作設定		視聴制限 OFF
		ローカル設定	TV 番号入力設定	TV 番号入力	有効
				パスワード設定	1111
			出力文章設定	出力文章設定	視聴制限中
				文字の大きさ	中（全角 20 文字× 10 行）
		リモート設定	FTP	FTP サーバアドレス	なし
				ログイン名	admin
				パスワード	admin
				サブフォルダ名	なし
				変調器 ID	MD0
	TV 番号選択	TV 番号選択	TV 番号		0 ～
			0 ～ 399 のマス		視聴制限中

※ 1.　表示のみの項目です。
※ 2.　かんたん設定を行うと工場出荷設定になる項目です。
※ 3.　起動中のみ有効で設定が保存されない項目です。

時刻補正

時刻情報の取得方法の設定、本機時刻の設定をします。

1. システム設定 を選択します。 → システム設定 に変わります。

2. 時刻補正 を選択します。 → 時刻補正 に変わります。

「時刻補正」に切替わっていることを確認します。

3. 以下の画面が表示されます。

時刻補正

A

時刻補正方法

補正方法	◉ NTP→ワンセグ	○ NTP	○ ワンセグ
	☑ 補正エラー検出有効		
NTPサーバー	IPアドレス1		
	IPアドレス2		
	IPアドレス3		
ワンセグ	物理チャンネル	ch.27(557MHz)	

B

時刻

本体時刻	2011 / 09 / 20　14 : 39 : 19	手動設定
PC時刻	2011 / 09 / 20　14 : 39 : 23	PC時刻に設定

A. 時刻補正

項目	内容
時刻補正方法	時刻補正方法を選択します。 ［NTP →ワンセグ］ NTP サーバーによる時刻補正を優先的に行います。NTP サーバーの時刻補正ができなかった場合は、ワンセグによる時刻補正を行います。 ［NTP］ NTP サーバーによる時刻補正のみを行います。 ［ワンセグ］ ワンセグによる時刻補正のみを行います。
補正エラー検出有効	時刻補正異常を通知する場合は選択します。 通常は「補正エラー検出有効」にしてください。
NTP サーバー	NTP サーバーによる時刻補正設定をします。 ［IP アドレス 1 ～ 3］ NTP による時刻補正時に参照するサーバーの IP アドレスを入力します。 NTP を使用するときは IP アドレス 1 ～ 3 の最低 1 つは入力してください。
ワンセグ	ワンセグによる時刻補正設定をします。 ［物理チャンネル］ ワンセグ TOT（Time Offset Table）を送信している地上デジタル放送局の物理チャンネルを選択します。

B. 時刻

項目	内容
本体時刻	画面表示時の本機時刻を表示します。
手動設定	入力した内容で本機の時刻を設定します。
PC 時刻	ウェブブラウザが動作している PC のクライアントタイムを表示します。
PC 時刻に設定	ウェブブラウザが動作している PC のクライアントタイムを本機の時刻として設定します。

● 時刻補正の実行タイミングについて

装置の時刻で 0 時 7 分、2 時 7 分、4 時 7 分、. . . 20 時 7 分、22 時 7 分に時刻補正が行われます。

SNMP 設定

SNMP エージェントの動作を設定します。

1. システム設定 を選択します。 → システム設定 に変わります。

2. SNMP 設定 を選択します。 → SNMP 設定 に変わります。

「SNMP 設定」に切替わっていることを確認します。

3. 以下の画面が表示されます。

A. 基本設定

項目	内容
動作設定	SNMP エージェント動作の有効または無効を選択します。

B. ユーザー設定　ユーザー設定を入力します。

項目	内容
ユーザー名	ユーザー名を入力します。(半角 8 文字以上 16 文字以内)
パスワード	パスワードを入力します。(半角 8 文字以上 16 文字以内)
認証形式	認証形式を選択します。
暗号化形式	暗号化形式を選択します。

C. MIB ファイル

項目	内容
装置から読出し	MIB ファイルを PC に保存します。
MIB ファイルバージョン	MIB ファイルバージョンを表示します。

3-3-5. 視聴制限

● **視聴制限機能をご使用になる前に**

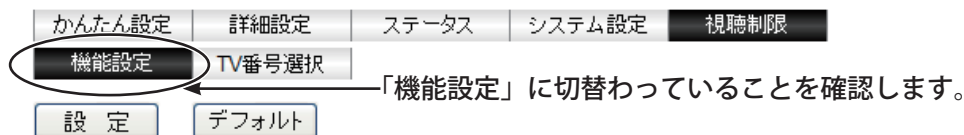
はじめに、「3-4. 視聴制限の運用」を必ずご参照ください。

以下の場合には、「テレビへの TV 番号設定手順」の手順に沿ってテレビに対する設定を行ってください。

1. 視聴制限機能を初めてお使いになる場合
2. ご使用のテレビを変更された場合
3. 本機の「地域識別割り当て」または「地域事業者識別」を変更された場合

機能設定 「基本設定」、「ローカル設定」、「リモート設定」を設定することができます。

1. 視聴制限 を選択します。 → 視聴制限 に変わります。

2. 機能設定 を選択します。 → 機能設定 に変わります。

3. 以下の画面が表示されます。

A. 基本設定

項目	内容
動作設定	視聴制限の動作を設定します。 （視聴制限 OFF/ ローカル ON / リモート ON / 拡張リモート ON）

●「リモート ON」および「拡張リモート ON」について

「リモート ON」および「拡張リモート ON」は、不用意に設定しないでください。

これらの視聴制限機能を運用するためには、別途サーバーと専用のアプリケーションが必要です。

● 視聴制限モードを変更する場合の注意点

視聴制限モードの変更を頻繁に行うような運用は行わないでください。

視聴制限モードを変更した場合には、変更前のモードにおいてテレビに対して行った「TV 番号設定」（66 ページ参照）が新しいモードでの動作によって無効になる場合があります。

そのため「ローカル ON」「リモート ON」「拡張リモート ON」の状態から別の視聴制限モードに切り換えを行う場合には、新しいモードに完全に切り替わってからテレビの電源を ON とするか、自主放送チャンネルを再選局してください。

● 視聴制限機能有効時の TS レートについて

視聴制限機能が有効（「動作設定」が「視聴制限 OFF」以外）であるときに、サービスの HD 出力映像・音声が乱れる場合には、「詳細設定」ー「エンコード設定」の「HD 設定」ー「TS レート」を確認してください。設定値が 20 である場合には、19 に変更することにより状況を改善できます。

視聴制限機能と TS レートの関係については、「エンコード設定」（36 ページ参照）の「最大ビットレートについて」（38 ページ参照）をお読みください。

● 視聴制限機能有効時の番組録画について

視聴制限機能が有効（「動作設定」が「視聴制限 OFF」以外）であるときに、本装置より出力されるサービス（番組）の映像・音声は、市販の一般的なデジタルレコーダや録画機能付きのテレビでは録画できません。

● テレビに多数の地上デジタル放送チャンネルを登録する場合の注意点

本機が出力する自主放送は、地上デジタル放送としてデジタルテレビに受信されます。

自主放送を含む地上デジタル放送チャンネル（放送局）のデジタルテレビへの登録数が、リモコンキーの数である 12 チャンネルを越える場合、本機の視聴制限が正常に動作しなくなる場合があります。

●「TV 番号設定」後に本機の設定を変更する場合の注意点

テレビに対して「TV 番号設定」（66 ページ参照）を行った後、本機において下記のいずれかの設定項目を変更し、テレビをチャンネルスキャンした場合には、テレビに対して、再度、「TV 番号設定」を行う必要がありますのでご注意ください。

- 「詳細設定」ー「共通設定」ー「放送ネットワーク設定」ー「地域識別割り当て」
- 「詳細設定」ー「共通設定」ー「放送ネットワーク設定」ー「地域事業者識別」
- 「かんたん設定」ー「放送ネットワーク設定」ー「地域識別割り当て」
- 「かんたん設定」ー「放送ネットワーク設定」ー「地域事業者識別」

B. ローカル設定

a. TV 番号入力設定　TV 番号入力の設定をします。

動作設定を「ローカル ON」にした場合に有効となります。

項目	内容
TV 番号入力	TV 番号入力を選択します。(無効 / 有効)
パスワード設定	TV 番号入力パスワードを入力します。(半角数字 4 文字)

b. 出力文章設定　出力文章の設定をします。

動作設定を「ローカル ON」にした場合に有効となります。

項目	内容
出力文章	視聴制限時にＴＶ画面に表示される文章を入力します。 例）下図は出力文章が「視聴制限中」です。 視聴制限中
文字の大きさ	出力文章の文字の大きさは小・中・大から選択します。 （文字数は全角で 80 文字以内） ・小 (全角 24 文字× 12 行) ・中 (全角 20 文字× 10 行) ・大 (全角 16 文字× 8 行)

C. リモート設定

a. FTP　FTP の設定をします。

動作設定を「リモート ON」または「拡張リモート ON」にした場合に有効となります。

項目	内容
FTP サーバーアドレス	FTP サーバーにアクセスする際のアドレスを入力します。
ログイン名	FTP サーバーにアクセスする際のログイン名を入力します。 (半角英数字 1 文字以上 20 文字以内)
パスワード	FTP サーバーにアクセスする際のパスワードを入力します。
サブフォルダ名	サブフォルダ名を入力します。 通常は FTP でログインしたディレクトリ内のファイルをアクセスしますが、 入力したサブディレクトリ内のファイルをアクセスすることも可能です。 動作設定を「拡張リモート ON」にした場合には無効となります。
変調器 ID	変調器 ID の選択をします。 動作設定を「拡張リモート ON」にした場合に有効となります。

TV 番号選択

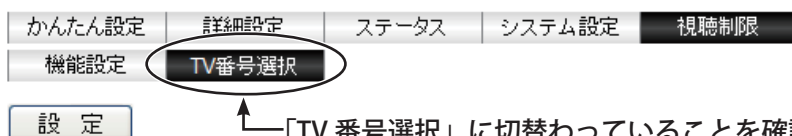
「TV 番号選択」を設定します。

● TV 番号選択について

「TV 番号選択」は視聴制限「ローカル ON」時のみ利用できます。（58 ページ参照）

「視聴制限」→「機能設定」→「基本設定」内「動作設定」→「ローカル ON」

1. 視聴制限 を選択します。 → 視聴制限 に変わります。

2. TV 番号選択 を選択します。 → TV 番号選択 に変わります。

「TV 番号選択」に切替わっていることを確認します。

3. 以下の画面が表示されます。

4. 目的の TV 番号（400 個単位で項目表示）の対象項目を選択します。

右のマスに選択した項目の数字（400 個）が表示されます。

5. 目的の TV 番号を選択します。

6. 複数選択する場合は、**4. 5.** を繰り返し行います。

7. [設　定] をクリックします。

更新されます。
キャンセルする場合は [設　定] をクリックしないでください。

A.

項目	内容
TV 番号	0 ～ 8191 の番号 400 個単位で項目表示されています。 （0 ～ 399,　400 ～ 799,　800 ～…～ 7599,　7600 ～ 7999,　8000 ～ 8191）

B.

項目	内容
TV 番号の書かれたマス	TV 番号 0 ～ 8191 までの視聴許可および制限の設定をします。 視聴制限の切替えを行いたい TV 番号が書かれたマスを選択することで許可⇔制限を切替えることができます。 　マスに色がついている　 ：視聴許可中 　マスに色がついていない：視聴制限中

C.

項目	内容
オールチェックボタン	現在表示している TV 番号すべてを視聴許可状態にします。

D.

項目	内容
オールクリアボタン	現在表示している TV 番号すべてを視聴制限状態にします。

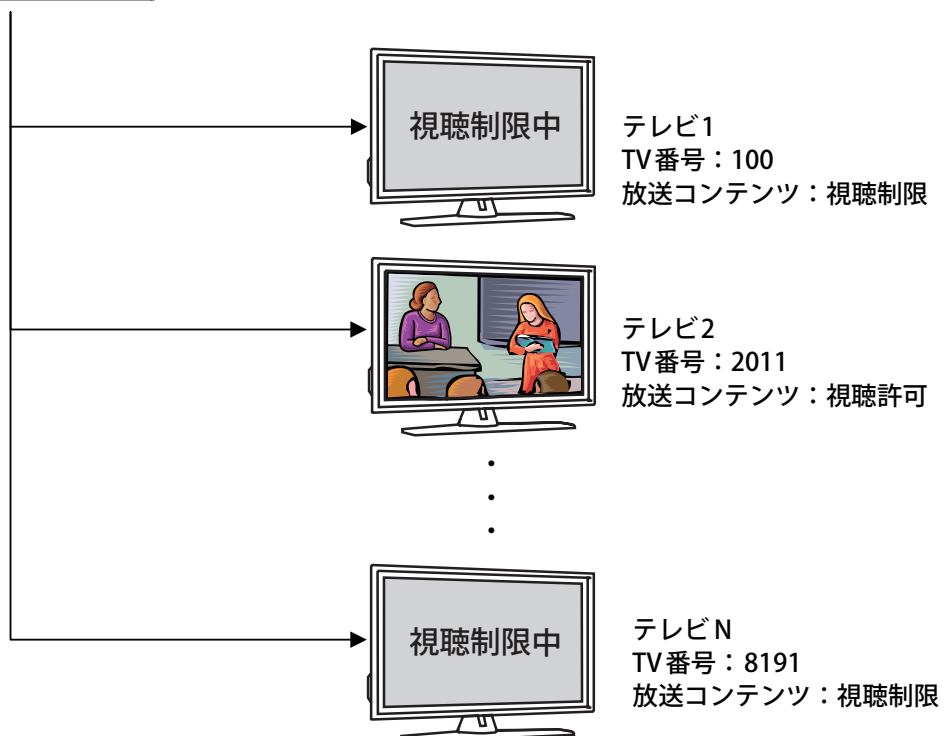
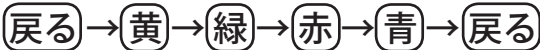
3-4. 視聴制限の運用

● 視聴制限機能について（制約事項）

視聴制限機能は、地上デジタル放送の「データ放送」のしくみを利用しています。
データ放送は、「テレビで動作するプログラム」を含む放送波をテレビが受信・記録し、テレビが実行するしくみであるため、次のような制約があります。

- すべてのテレビで視聴制限機能が動作する保証はありません。メーカーによって動作が異なります。また、同一のメーカーでも年式やモデルによって動作が異なる可能性があります。
- 使用するテレビによっては視聴制限中でも番組表の小映像表示に映像が表示されることがあります。

- 視聴制限機能を有効としている場合には、チャンネル選局から視聴できるまでに時間がかかります。この時間は放送波を受信したテレビのメモリにプログラムを蓄積し、実行するために必要なもので、かかる時間はテレビに依存します。
- 使用するテレビによってはチャンネル選局後に一旦、映像が表示された後、サイズが切り替えられ、再表示されるテレビがあります。テレビ側で「画面サイズ自動切換え」機能が働くためです。
- 使用するテレビによってはリモコンボタンによる音声切り換えの機能が働かないことがあります。

接続されたデータ放送に対応した各テレビに対して、固有の番号 (以下 TV 番号) を割り当てることにより、放送コンテンツの視聴許可および制限を制御することができます。
設定した TV 番号の制御は「TV 番号選択」（62 ページ参照）にて設定します。

3-4-1. テレビへの TV 番号設定手順

テレビに対して TV 番号を設定します。

1. 「視聴制限」を「ローカル ON」に設定します。（58 ページ参照）

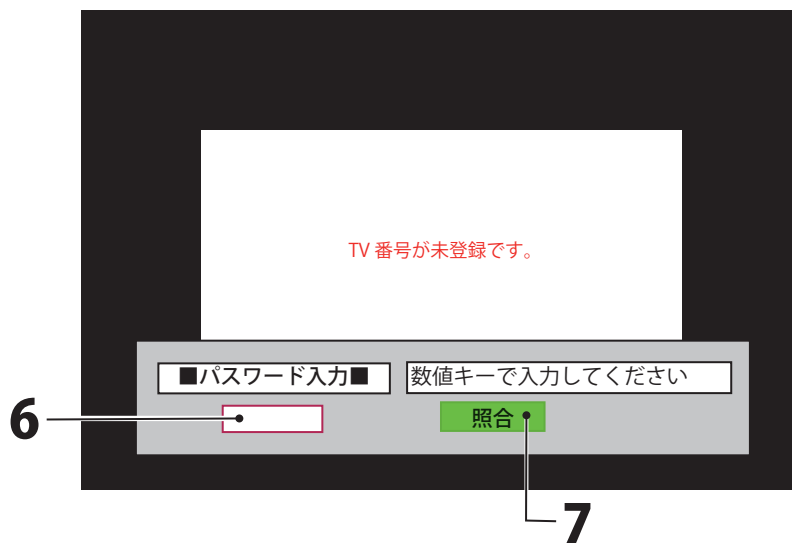
「視聴制限」→「機能設定」→「基本設定」内「動作設定」→「ローカル ON」

（出荷時は「視聴制限 OFF」に設定されています。）

2. 「機能設定」→「TV 番号入力設定」→「TV 番号入力」が「有効」に設定されていることを確認します。（58 ページ参照）

3. テレビにて自主放送のサービスを選局します。

4. リモコンでテレビに対して以下の順にボタン操作を行います。

戻る→黄→緑→赤→青→戻る

5. 以下の画面が表示されます。

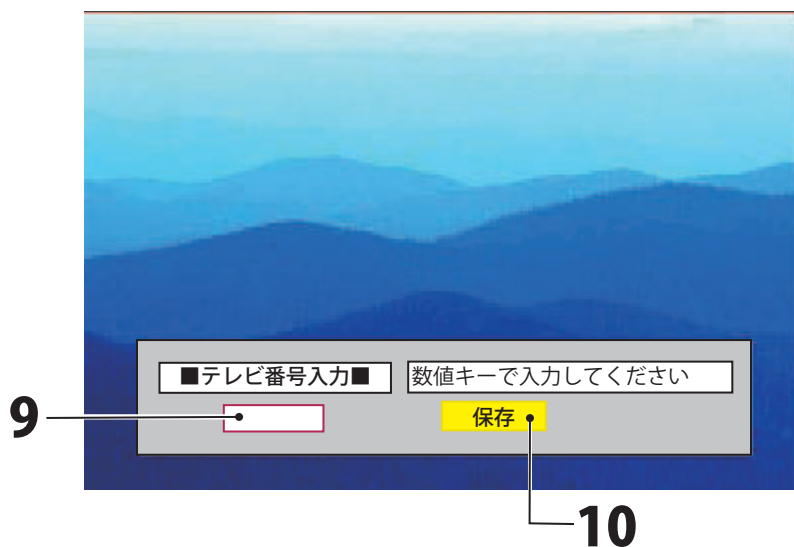
6. リモコンの数字ボタンを押してパスワードを入力します。

（パスワードはウェブブラウザで設定した 4 桁の数値です。出荷時は "1111" に設定されています。）
（58 ページ参照）

7. 「照合」を選択し、リモコンの決定ボタンを押します。

リモコンの緑ボタンを押すことでも同等の操作となります。

8. パスワードの認証に成功すると以下の画面が表示されます。

（認証に失敗した場合は、入力誤り、もしくはパスワードが異なる可能性があります。設定したパスワードをご確認ください。）

9. リモコンの数字ボタンを押して TV 番号を入力します。

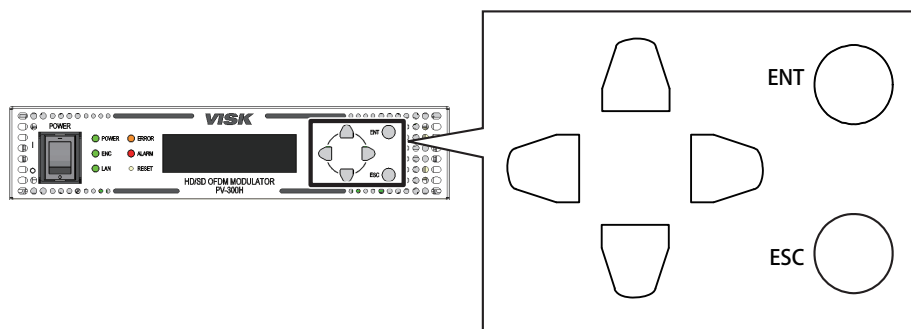
TV 番号は 0 ～ 8191 の数字を入力してください。
（範囲外の TV 番号を設定されたテレビには、視聴制限の画面が表示されます。）

TV 番号入力画面の間、視聴制限が解除されます。(最長 3 分間)
設定中のチャンネルに誤りが無いことを確認してください。

10. 入力画面上の「保存」を選択し、リモコンの決定ボタンを押します。

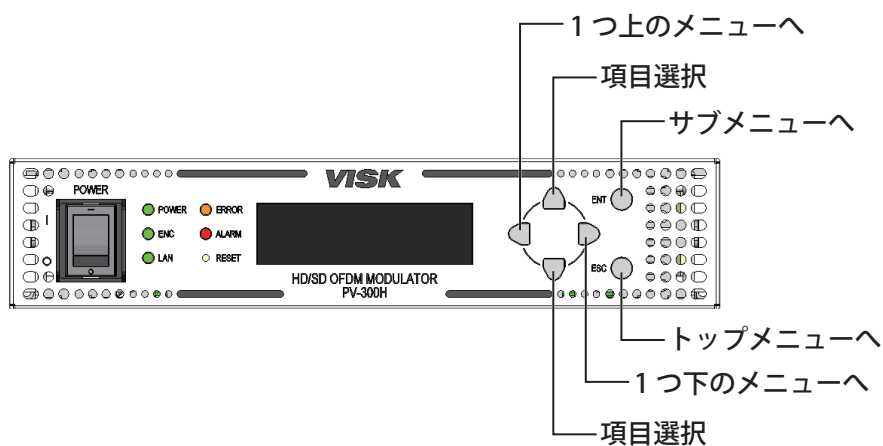
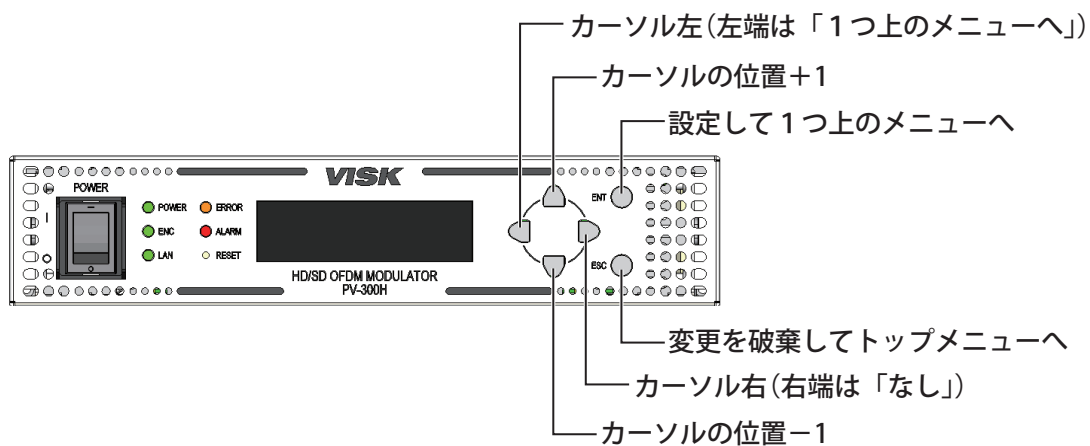
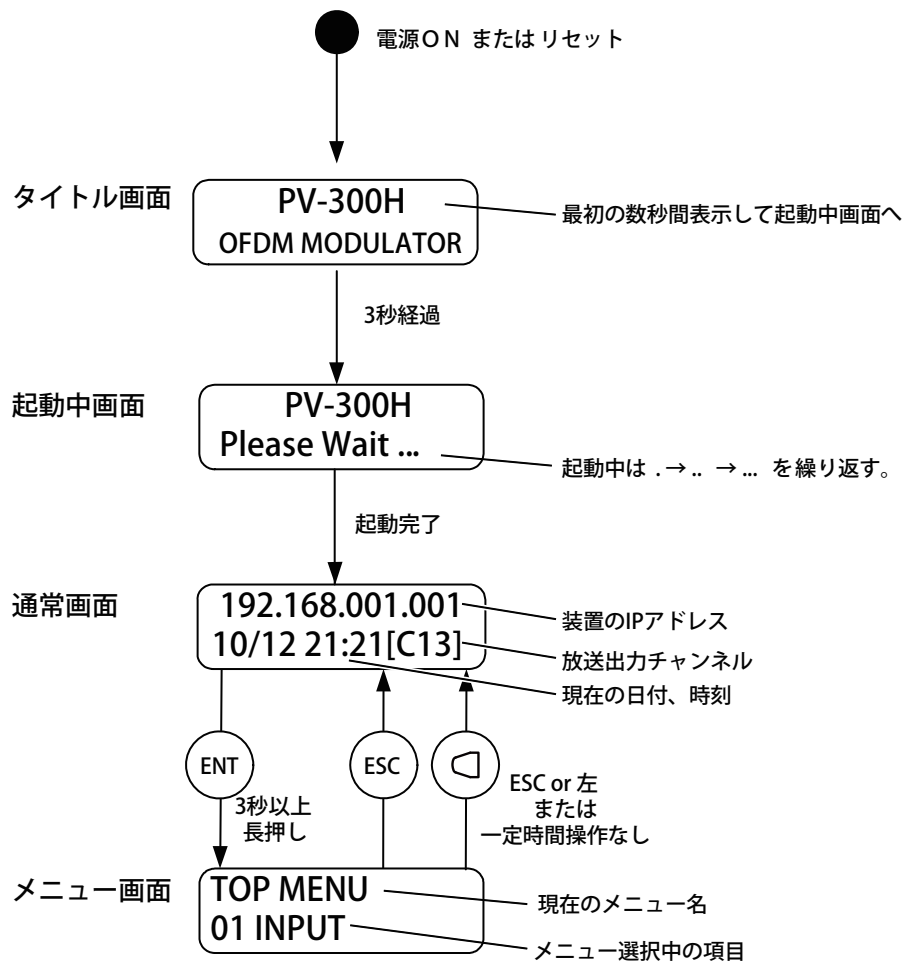
リモコンの黄ボタンを押すことでも同等の操作となります。

3-5. 設定用ディスプレイ、設定ボタン

3-5-1. 設定ボタンの基本動作

《メニュー選択時》

《パラメータ変更時》

《パネル制御の流れ》

電源ＯＮ またはリセット
タイトル画面
PV-300H
OFDM MODULATOR
最初の数秒間表示して起動中画面へ
3秒経過
起動中画面
PV-300H
Please Wait ...
起動中は .→.. →... を繰り返す。
起動完了
通常画面
192.168.001.001
10/12 21:21[C13]
装置のIPアドレス
放送出力チャンネル
現在の日付、時刻
ENT
ESC
3秒以上
長押し
ESC or 左
または
一定時間操作なし
メニュー画面
TOP MENU
01 INPUT
現在のメニュー名
メニュー選択中の項目

3-5-2. 動作詳細

《メニュー画面のツリー構成》

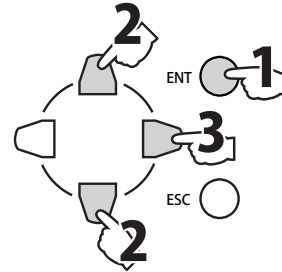
- 01　INPUT　入力設定（参照ページ P12）
  - V：HDMI　A：HDMI
  - V：ANA　A：ANA
  - V：HDMI　A：ANA
- 02　BROADCAST　放送設定（参照ページ P72）
  - 21 AREA　放送地域識別割り当て選択（参照ページ P72）
    - kanto　area　関東広域選択
    - ：
    - ：
    - okinawa 沖縄県選択
  - 22 B-CASTER ID　地域事業者識別（参照ページ P72）
    - A(0)　A(0) 選択
    - B(1)　B(1) 選択
    - C(2)　C(2) 選択
    - ：
    - ：
    - P(15)　P(15) 選択
  - 23 REMOCON KEY　リモコンキー ID 設定（参照ページ P73）
    - 1　リモコンの 1 チャンネル選択
    - ：
    - ：
    - 12　リモコンの 12 チャンネル選択
  - 24 BC FREQUENCY　放送周波数設定（参照ページ P73）
    - ch. 1(93MHz)　ch. 1 選択
    - ：
    - ：
    - ch. 62(767MHz)　ch62 選択
- 03　NETWORK　ネットワーク設定（参照ページ P74）
  - 31 IP ADDRESS　IP アドレス（参照ページ P74）
    - IP 入力：XXX.XXX.XXX.XXX
  - 32 NET MASK　サブネットマスク（参照ページ P75）
    - IP 入力：XXX.XXX.XXX.XXX
  - 33 GATEWAY　デフォルトゲートウェイ（参照ページ P75）
    - IP 入力：XXX.XXX.XXX.XXX
- 04　DATE　日付、時刻設定（参照ページ P76）
  - 41 ADJUST MODE　時刻補正方法（参照ページ P76）
    - NTP+ONESEG
    - NTP
    - ONESEG
  - 42 NTP IP ADRS1　NTP サーバー IP アドレス 1（参照ページ P77）
    - IP 入力：XXX.XXX.XXX.XXX
  - 43 NTP IP ADRS2　NTP サーバー IP アドレス 2（参照ページ P77）
    - IP 入力：XXX.XXX.XXX.XXX
  - 44 NTP IP ADRS3　NTP サーバー IP アドレス 3（参照ページ P77）
    - IP 入力：XXX.XXX.XXX.XXX
  - 45 ONESEG ch.　ONESEG チャンネル設定（参照ページ P77）
    - CH.13(473MHz)　CH.13 選択
    - ：
    - ：
    - CH.62(767MHz)　CH.62 選択
- 05　RF LEVEL　RF 出力レベルの設定（参照ページ P78）
  - 90dB μV　90dB μV 選択
  - ：
  - ：
  - 110dB μV　110dB μV 選択
- 06　ERROR/ALARM　エラー / アラーム（参照ページ P79）
  - 61 ERROR（参照ページ P79）
    - 表示：XX XXXXXXXXXXXX
  - 62 ALARM（参照ページ P79）
    - 表示：XX XXXXXXXXXXXX
- 07　VERSION　バージョン（参照ページ P80）
  - 表示：XXXX
- 08　SERIAL No.　シリアル番号（参照ページ P80）
  - 表示：XXXXXXXXXXXXXXXXXX

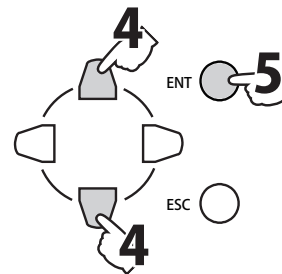
01　INPUT （映像・音声入力設定）

映像・音声入力設定を選択します。
かんたん設定の入力選択同様に「詳細設定」を行わずに設定が可能です。
（出荷時は「V：HDMI　A：HDMI」になっています。）

1. ENT を 3 秒以上長押しします。

2. で「01　INPUT」を選択します。

3. を押します。
「映像・音声入力設定」が表示されます。

4. 希望の「映像・音声入力設定」を表を参照して
で選択します。

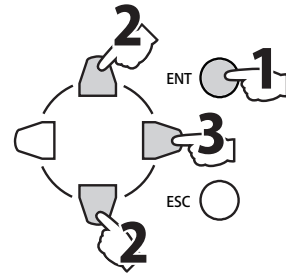
映像入力	音声入力	表示
HDMI 入力	HDMI 入力	V：HDMI　　A：HDMI
アナログ入力	アナログ入力	V：ANA　　A：ANA
HDMI 入力	アナログ入力	V：HDMI　　A：ANA

5. ENT を押します。

02　BROADCAST（放送設定）

1. ENT○を 3 秒以上長押しします。

2. △▽で「02　BROADCAST」を選択します。

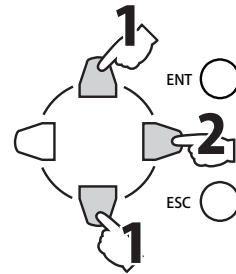
3. ▷を押します。

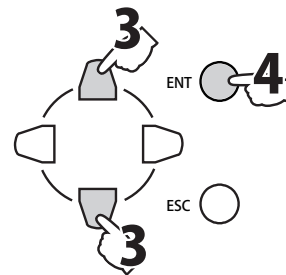
「21 AREA」が表示されます。

21　AREA

・地域識別割当てを選択します。
・本機を設置した地域を選択してください。
（出荷時は「Tokyo」になっています。）

1. △▽で「21　AREA」を選択します。

2. ▷を押します。

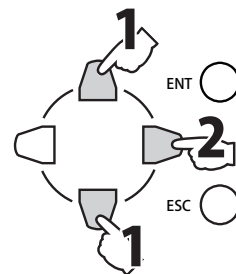
「地域識別割当て」が表示されます。

3. △▽で「地域識別割当て」を選択します。

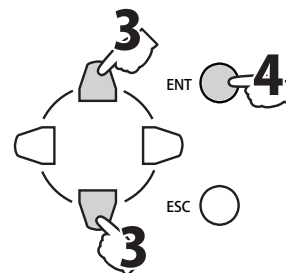
4. ENT○を押します。

22　B-CASTER ID

・地域事業者識別を選択します。
・「O(14)」を選択してください。
（出荷時は「O(14)」になっています。）

1. △▽で「22 B-CASTER ID」を選択します。

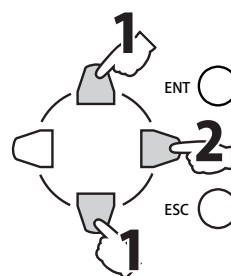
2. ▷を押します。

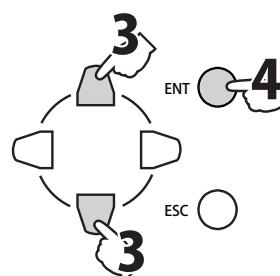
「地域事業者識別」が表示されます。

3. △▽で「地域事業者識別」を選択します。

4. ENT○を押します。

23　REMOCON KEY

- リモコンキー ID（リモコンのボタン番号）を選択します。
- 放送チャンネルの割当てのないボタン番号を選択してください。
（出荷時は「11」になっています。）

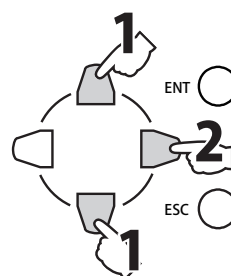
1. で「23 REMOCON KEY」を選択します。

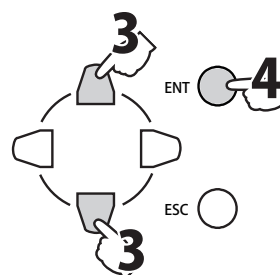
2. を押します。
「リモコンキー ID」が表示されます。

3. で「リモコンキー ID」を選択します。

4. ENT を押します。

24　BC FREQUENCY

- 本機からのサービスを送出するチャンネル（放送周波数）を選択します。
- ch.1 ～ 62，ch.C13 ～ C63 が選択できます。
- 放送のないチャンネルを選択してください。
（出荷時は「C23」になっています。）

1. で「24 BC FREQUENCY」を選択します。

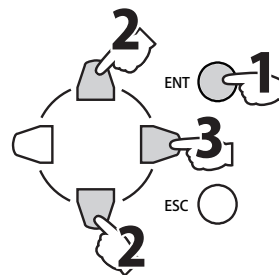
2. を押します。
「チャンネル（放送周波数）」が表示されます。

3. で「チャンネル（放送周波数）」を選択します。

4. ENT を押します。

03　NETWORK （ネットワーク設定）

1. ENT○ を 3 秒以上長押しします。

2. △ ▽ で「03　NETWORK」を選択します。

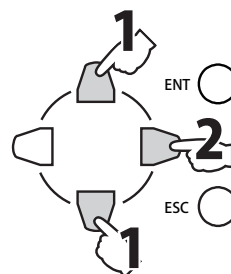
3. ▷ を押します。

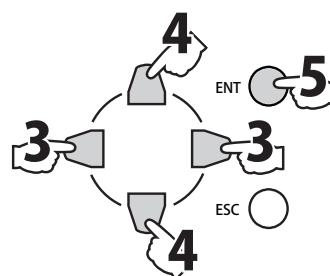
「31 IP ADDRESS」が表示されます。

31　IP ADDRESS

本機の「IP アドレス」を設定します。
（出荷時は「192.168.001.001」になっています。）

1. △ ▽ で「31 IP ADDRESS」を選択します。

2. ▷ を押します。

「IP アドレス」が表示されます。

3. ◁ ▷ で数値を変えたい位置にカーソルを移動させます。

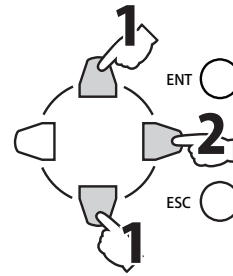
4. △ ▽ で数値を増減させます。

5. ENT○ を押します。

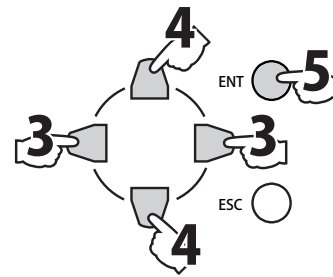
32　NET MASK

本機の「サブネットマスク」を設定します。
（出荷時は「255.255.255.000」になっています。）

1. で「32 NET MASK」を選択する。

2. を押します。

「サブネットマスク」が表示されます。

3. で数値を変えたい位置にカーソルを移動させます。

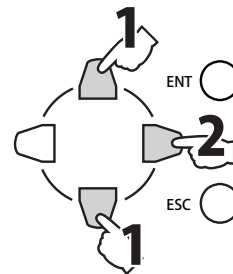
4. で数値を増減させます。

5. ENT を押します。

33　GATEWAY

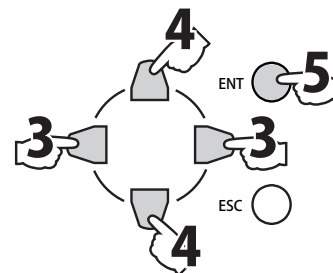
本機の「デフォルトゲートウェイ」を設定します。
（出荷時は「000.000.000.000」になっています。）

1. で「33 GATEWAY」を選択します。

2. を押します。

「デフォルトゲートウェイ」が表示されます。

3. で数値を変えたい位置にカーソルを移動させます。

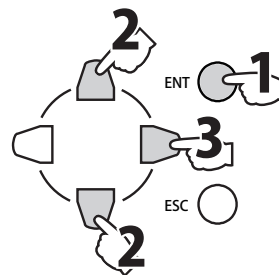
4. で数値を増減させます。

5. ENT を押します。

04 DATE （日付・時刻補正方法の設定）

1. ENT を 3 秒以上長押しします。

2. で「04　DATE」を選択します。

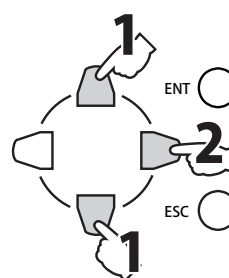
3. を押します。

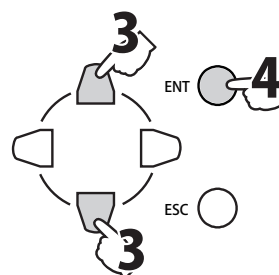
「41 ADJUST MODE」が表示されます。

41 ADJUST MODE

「時刻補正方法」を設定します。
（出荷時は「NTP+ONESEG」になっています。）

1. で「41 ADJUST MODE」を選択します。

2. を押します。

「時刻補正方法」が表示されます。

3. 希望の「時刻補正方法」を表を参照して
で選択します。

表示	時刻補正方法
NTP+ONESEG	タイムサーバー (NTP) タイムサーバー（NTP）による時刻補正を行います。 タイムサーバーによる時刻補正ができない場合，ワンセグによる時刻補正を行います。
NTP	タイムサーバーによる時刻補正を行います。
ONESEG	ワンセグによる時刻補正を行います。

4. ENT を押します。

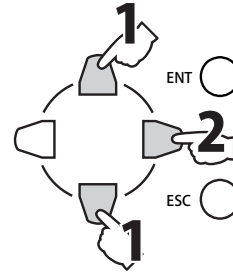
42　NTP IP ADRS1

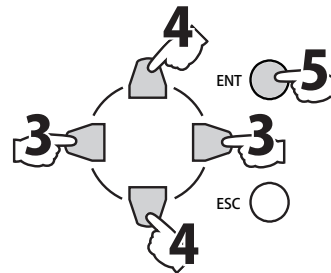
43　NTP IP ADRS2 （NTP IP アドレス 1 から取得できない場合、使用します。）

44　NTP IP ADRS3 （NTP IP アドレス 2 から取得できない場合、使用します。）

タイムサーバーによる時刻補正時に取得するサーバーの IP アドレスを入力します。
NTP を使用するときは最低 1 つは入力してください。
（出荷時は「000.000.000.000」になっています。）

1. △▽で「42 NTP IP ADRS1」を選択します。

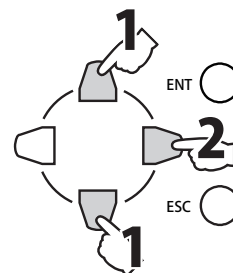
2. ▷を押します。
「タイムサーバーによる時刻補正時に取得する IP アドレス」が表示されます。

3. ◁▷で数値を入力したい位置にカーソルを移動させます。

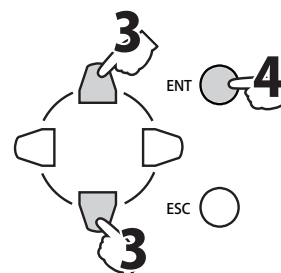
4. △▽で数値を増減させます。

5. ENT○ を押します。

45　ONESEG ch.

・ワンセグによる時刻補正時に受信するチャンネルを選択します。
・ch.13 ～ 62 が選択できます。（出荷時は「ch.27(557MHz)」になっています。）

1. △▽で「45 ONESEG ch.」を選択します。

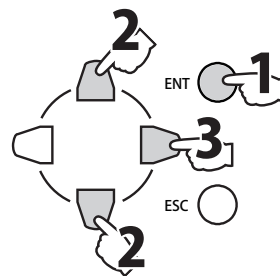
2. ▷を押します。
「ワンセグによる時刻補正時に受信するチャンネル」が表示されます。

3. △▽で受信する「チャンネル（受信周波数)」を選択します。

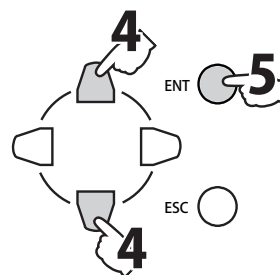
4. ENT○ を押します。

05　RF LEVEL （RF 出力レベルの設定）

本機の出力レベルを設定します。
（出荷時は「105」dB μ V になっています。）

1. ENT を 3 秒以上長押しします。

2. で「05 RF LEVEL」を選択します。

3. を押します。
「RF 出力レベル」が表示されます。

4. で「RF 出力レベル」を選択します。

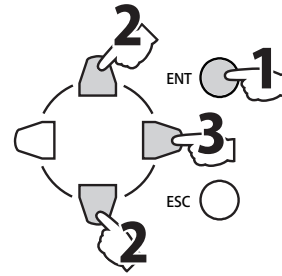
5. ENT を押します。

06　ERROR/ALARM （エラー / アラーム）

本機で発生中のエラーとアラームの情報を表示します。

1. ENT○ を 3 秒以上長押しします。

2. △▽で「06 ERROR/ALARM」を選択します。

3. ▷を押します。

「61 ERROR」が表示されます。

61　ERROR

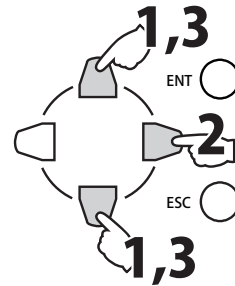
本機で発生中のエラーを表示します。

1. △▽で「61 ERROR」を選択します。

2. ▷を押します。

エラーの発生状態が表示されます。
エラーがないときは「NO ERROR」が表示されます。

3. △▽でエラー内容を確認します。

（エラーが 2 つ以上発生している場合）

62　ALARM

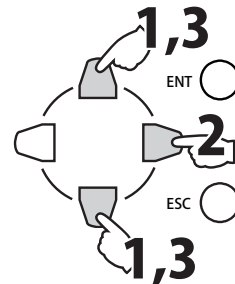
本機で発生中のアラームを表示します。

1. △▽で「62 ALARM」を選択します。

2. ▷を押します。

アラームの発生状態が表示されます。
アラームがないときは「NO ALARM」が表示されます。

3. △▽でアラーム内容を確認します。

（アラームが 2 つ以上発生している場合）

07　VERSION（バージョン表示）

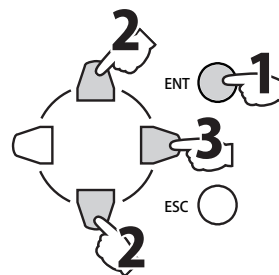
ファームウェアのバージョンを表示します。

1. ENT○ を 3 秒以上長押しします。

2. △▽で「07　VERSION」を選択します。

3. ▷を押します。

インストールされているファームウェアのバージョンが表示されます。
（下表参照）

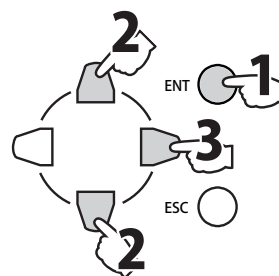
項目	内容
PKG	システムの総合バージョン
SYS	制御 CPU（SYS）のバージョン
APP	制御 CPU（APP）のバージョン
VCODEC	映像コーデックのバージョン
ACODEC	音声コーデックのバージョン
OFDM CPU	OFDM 制御 CPU のバージョン
BOOT CPU	起動制御 CPU のバージョン
CPLD	CPLD のバージョン
FPGA0	FPGA0 のバージョン
FPGA1	FPGA1 のバージョン

08　SERIAL No.（装置シリアル番号表示）

本機のシリアル番号を表示します。

1. ENT○ を 3 秒以上長押しします。

2. △▽で「08　SERIAL No.」を選択します。

3. ▷を押します。

「シリアル番号」が表示されます。

4. メンテナンス

4-1. エラー / アラーム

なんらかの外部要因による問題が発生した場合、装置前面の ERROR ランプ (橙) が点灯します。
また、本体のハードウェアに異常が発生した場合、ALARM ランプ (赤) が点灯します。
問題が発生した場合は以下の手順で確認を行ってください。

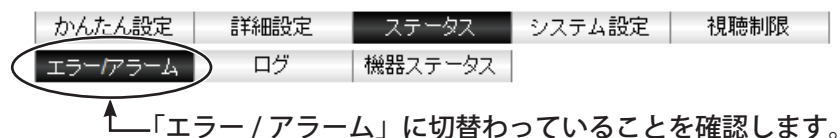
4-1-1. 内容を確認する

1. 本機と設定 PC を LAN ケーブルで接続します。

2. ウェブブラウザを立ち上げ、本機の IP アドレスを入力します。

3. ステータス を選択します。 → ステータス に変わります。

4. エラー / アラーム を選択します。 → エラー / アラーム に変わります。

「エラー / アラーム」に切替わっていることを確認します。

5. 左側にエラー情報が、右側にアラーム情報が表示されます。

6. ここに情報が表示されたとき、

〈エラー情報〉　：内容に従って各入出力端子を確認してください。
〈アラーム情報〉：内容に従ってすぐに原因を確認してください。

そのまま使用を続けた場合、故障の原因となることがあります。

4-1-2. 機器のステータスを確認する

機器ステータス 内部電圧値、温度、FAN の稼働状態を表示します。

1. 本機と設定 PC を LAN ケーブルで接続します。

2. ウェブブラウザを立ち上げ、本機の IP アドレスを入力します。

3. ステータス を選択します。 → ステータス に変わります。

4. 機器ステータス を選択します。 → 機器ステータス に変わります。

5. 機器状態が表示されます。

電圧	+5.0V	+4.0V	+3.0V	+1.5V	+0.9V	+5.5V	+1.0V	+1.2V	+1.25V	+1.8V
	正常	正常	正常	正常	正常	正常	正常	正常	正常	正常
	+2.5V	+3.3V	+1.8V_S	+3.0V_S	+3.0V_BAT					
	正常	正常	正常	正常	正常	--	--	--	--	--
温度	34.2℃	※-20℃～70℃の範囲を正常とする								
FAN	正常									

4-1-3. ログ内容詳細

ログ表示、表示パネルで確認ができる本機のログ内容の詳細情報を示します。
ステータス区別として、「情報」・「エラー」・「アラーム」の 3 種類があります。
「情報」に関するログ内容については、装置の動作には問題ありません。「エラー」「アラーム」に関するログ内容については、「エラー」「アラーム」の内容確認をして頂き弊社サポートまでご連絡ください。
お問合せ先については「お問い合わせ相談窓口」（98 ページ）をご参照ください。

《情報》

コード	区別	ログ詳細	内容
8101	情報	通常起動	通常モードの起動処理完了したとき
8102	情報	メンテナンス起動	メンテナンスモードの起動処理完了したとき
8103	情報	バージョンアップ	ソフトバージョンアップ開始したとき
8104	情報	時刻補正完了 (NTP)	NTP による時刻補正の結果
8105	情報	時刻補正完了 (ワンセグ)	ワンセグによる時刻補正の結果
8106	情報	時刻補正方法設定 (NTP →ワンセグ)	時刻補正を NTP →ワンセグに設定したとき
8107	情報	時刻補正方法設定 (NTP)	時刻補正を NTP に設定したとき
8108	情報	時刻補正方法設定 (ワンセグ)	時刻補正をワンセグに設定したとき
8109	情報	時刻手動または PC 時刻に設定	時刻を手動または PC 時刻で補正したとき
810A	情報	時刻補正実施 (NTP →ワンセグ)	時刻補正が NTP またはワンセグで実施したとき
810B	情報	時刻補正実施 (NTP)	NTP にて時刻補正を実施したとき
810C	情報	時刻補正実施 (ワンセグ)	ワンセグにて時刻補正を実施したとき
810D	情報	IP アドレス変更	装置の IP アドレス変更したとき
810F	情報	工場出荷時設定に変更	ウェブから工場出荷時設定に戻したとき
8111	情報	システム再起動	SNMP からのリセット要求をされたとき
8112	情報	ログ異常検出、データ初期化	ログデータに異常があり、データを初期化したとき
8113	情報	時刻補正エラー検出設定 (有効)	時刻補正エラー検出を有効に設定したとき
8114	情報	時刻補正エラー検出設定 (無効)	時刻補正エラー検出を無効に設定したとき
8201	情報	エンコード開始	エンコード開始指示後
8203	情報	エンコード初期化	エンコード初期化指示後
8210	情報	入力選択 (映像 :VIDEO IN ／音声 :AUDIO IN)	入力信号がアナログ映像／アナログ音声に 変更されたとき
8211	情報	入力選択 (映像 :HDMI IN ／音声 :HDMI IN)	入力信号が HDMI 映像／ HDMI 音声に 変更されたとき
8212	情報	入力選択 (映像 :HDMI IN ／音声 :AUDIO IN)	入力信号が HDMI 映像／アナログ音声に 変更されたとき
8220	情報	入力映像 認識不能	自動追従で映像フォーマットが 認識不能だったとき
8221	情報	入力映像 サポート外	自動追従で映像フォーマットが サポート外だったとき
8222	情報	入力映像 1080i	自動追従で映像フォーマット 1080i、アスペクト 比 不明と認識したとき

コード	区別	ログ詳細	内容
8223	情報	入力映像 1080i 16:9	自動追従で映像フォーマット 1080i、アスペクト比 16:9 と認識したとき
8224	情報	入力映像 1080i 4:3	自動追従で映像フォーマット 1080i、アスペクト比 4:3 と認識したとき
8225	情報	入力映像 1080i 4:3LB	自動追従で映像フォーマット 1080i、アスペクト比 4:3 レターボックス と認識したとき
8226	情報	入力映像 480i	自動追従で映像フォーマット 480i、アスペクト比 不明と認識したとき
8227	情報	入力映像 480i 16:9	自動追従で映像フォーマット 480i、アスペクト比 16:9 と認識したとき
8228	情報	入力映像 480i 4:3	自動追従で映像フォーマット 480i、アスペクト比 4:3 と認識したとき
8229	情報	入力映像 480i 4:3LB	自動追従で映像フォーマット 480i、アスペクト比 4:3 レターボックス と認識したとき
822A	情報	入力映像 480p	自動追従で映像フォーマット 480p、アスペクト比 不明と認識したとき
822B	情報	入力映像 480p 16:9	自動追従で映像フォーマット 480p、アスペクト比 16:9 と認識したとき
822C	情報	入力映像 480p 4:3	自動追従で映像フォーマット 480p、アスペクト比 4:3 と認識したとき
822D	情報	入力映像 480p 4:3LB	自動追従で映像フォーマット 480p、アスペクト比 4:3 レターボックス と認識したとき
822E	情報	入力映像 VGA	自動追従で映像フォーマット VGA、アスペクト比 不明と認識したとき
822F	情報	入力映像 VGA 16:9	自動追従で映像フォーマット VGA、アスペクト比 16:9 と認識したとき
8230	情報	入力映像 VGA 4:3	自動追従で映像フォーマット VGA、アスペクト比 4:3 と認識したとき
8231	情報	入力映像 VGA 4:3LB	自動追従で映像フォーマット VGA、アスペクト比 4:3 レターボックス と認識したとき
8681	情報	視聴制限 ON(ローカル設定)	視聴制限 ON(ローカル設定) を実施したとき
8682	情報	視聴制限 ON(リモート設定)	視聴制限 ON(リモート設定) を実施したとき
8683	情報	視聴制限 OFF	視聴制限 OFF を実施したとき
8684	情報	視聴制限 ON(拡張リモート設定)	視聴制限 ON(拡張リモート設定) を実施したとき
8701	情報	OFDM 送信開始	OFDM 送信開始指示をしたとき
8702	情報	OFDM 送信停止	OFDM 送信停止指示をしたとき
8703	情報	OFDM 初期化	OFDM 初期化指示をしたとき

《エラー》

コード	区別	ログ詳細	パネル表示	内容
C101	エラー	時刻補正異常	TIME adjust	時刻補正が正しく行なわれなかったとき（NTP, ワンセグ未接続）
C104	エラー	設定ファイル異常	PARAM file	設定ファイルのチェックサムエラー
C201	エラー	エンコード異常	ENCODE	映像エンコーダのステータスがエラーになったとき
C202	エラー	TSMUX 異常	TSMUX	TSMUX のステータスがエラーになったとき
C203	エラー	VIDEO IN 端子入力断	VIDEO IN input	アナログ選択時、アナログビデオ入力が無いとき
C204	エラー	VIDEO IN 端子フォーマット異常	VIDEO IN format	ビデオフォーマットがNTSC に合致しないとき
C205	エラー	HDMI IN 端子入力断	HDMI IN input	HDMI 入力選択時にHDMI に入力がないとき
C206	エラー	HDMI IN 端子フォーマット異常	HDMI IN format	HD または SD を明示し、HDMI 入力を選択しているときにフォーマットに合わない入力があったとき
C207	エラー	HDMI IN 端子音声入力断	HDMI IN audio	HDMI エンベデッド音声が多重されていないとき
C221	エラー	エンコード初期化失敗	ENCODE init	符号化開始時のイニシャルが異常終了したとき
C222	エラー	映像エラー	VIDEO	映像 PES が正しく生成されないとき
C223	エラー	音声エラー	AUDIO	音声 PES が正しく生成されないとき
C224	エラー	TS エラー	TS	TS パケットが正しく生成されないとき
C225	エラー	STCPLL アンロック	STCPLL unlock	入力ビデオクロックに対し、システムクロックの PLL がロックできないとき
C231	エラー	映像コーデック異常	VCODEC	映像コーデックチップのステータス異常を検出したとき
C232	エラー	映像バッファオーバーフロー	VBUFFER overflow	映像コーデックチップのデータ受信バッファがオーバーフローしたとき
C233	エラー	映像コーデックDDR エラー	VCODEC DDR	映像コーデックチップに接続されるDDR メモリがオーバー／アンダーフローしたとき
C234	エラー	映像コーデックWDT エラー	VCODEC WDT	映像コーデックチップのウオッチドッグが異常を検出したとき
C241	エラー	音声コーデック異常	ACODEC	音声 DSP のステータス異常を検出したとき
C242	エラー	音声バッファオーバーフロー	ABUFFER overflow	音声 DSP のデータ受信バッファがオーバーフローしたとき
C244	エラー	音声コーデック開始 / 終了不可	ACODEC control	音声 DSP に対するスタート／ストップ制御ができないとき
C245	エラー	音声コーデック IP エラー	ACODEC IP	音声 DSP のエンコードコアが異常状態になったとき

コード	区別	ログ詳細	パネル表示	内容
C246	エラー	音声コーデック 入力フォーマット異常	ACODEC format	音声 DSP の入力データフォーマットが 異常なとき
C247	エラー	音声コーデック 入力タイミング異常	ACODEC timing	音声 DSP の入力データタイミングが 異常なとき
C248	エラー	音声コーデックデータ 入力異常	ACODEC input	音声 DSP への入力データが無いとき
C24A	エラー	音声コーデック バッファエラー	ACODEC buffer	音声 DSP の McBSP ポートが オーバーフローしたとき
C604	エラー	TS バッファ オーバーフロー	TSBUF overflow	TSMUX の TS 入力バッファ（サービスの 映像音声）がオーバーフローしたとき
C681	エラー	視聴制限機能異常	View Control	DSMCC 制御プログラムのステータスが エラーとなったとき
C682	エラー	視聴制限データ異常	VC Data	視聴制限用ファイルの生成に失敗した とき
C691	エラー	FTP パラメータエラー	VC Param	FTP で送られたパラメータに問題が あったとき
C692	エラー	FTP 転送エラー	VC Transfer	FTP 通信がエラーになったとき
C701	エラー	OFDM 異常	OFDM	OFDM 制御プログラムのステータスが エラーになったとき
C707	エラー	OFDM モジュール異常	OFDM module	OFDM モジュールのステータス異常を 検出したとき
C708	エラー	OFDM 初期化失敗	OFDM init	OFDM 開始時のイニシャルが 異常終了したとき
C709	エラー	放送周波数連動失敗	BC Freq link	放送周波数連動時に設定値を取得でき ず、OFDM 開始できなかったとき

《アラーム》

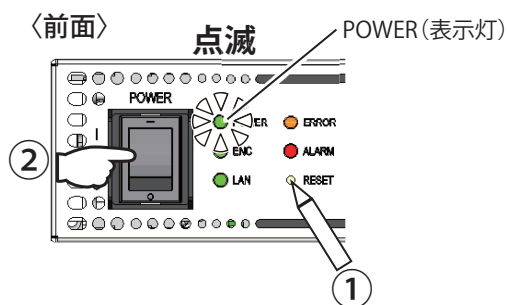
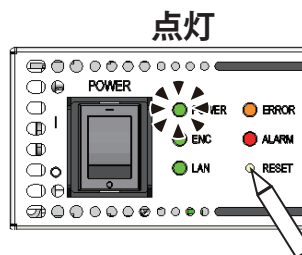
コード	区別	ログ詳細	パネル表示	内容
A101	アラーム	電圧値異常 (+5.0V)	volt(5.0V)	基板の +5.0V が± 10% の範囲を超えたとき
A102	アラーム	電圧値異常 (+4.0V)	volt(4.0V)	基板の +4.0V が± 10% の範囲を超えたとき
A103	アラーム	電圧値異常 (+3.0V)	volt(3.0V)	基板の +3.0V が± 10% の範囲を超えたとき
A104	アラーム	電圧値異常 (+1.5V)	volt(+1.5V)	基板の +1.5V が± 10% の範囲を超えたとき
A105	アラーム	電圧値異常 (+0.9V)	volt(+0.9V)	基板の +0.9V が± 10% の範囲を超えたとき
A107	アラーム	電圧値異常 (+5.5V)	volt(+5.5V)	基板の +5.5V が± 10% の範囲を超えたとき
A108	アラーム	電圧値異常 (+1.0V)	volt(+1.0V)	基板の +1.05V が± 10% の範囲を超えたとき
A109	アラーム	電圧値異常 (+1.2V)	volt(+1.2V)	基板の +1.2V が -10%, +20% の範囲を 超えたとき
A10A	アラーム	電圧値異常 (+1.25V)	volt(+1.25V)	基板の +1.25V が± 10% の範囲を超えたとき
A10B	アラーム	電圧値異常 (+1.8V)	volt(+1.8V)	基板の +1.8V が -10%, +20% の範囲を超えたとき
A10C	アラーム	電圧値異常 (+2.5V)	volt(+2.5V)	基板の +2.5V が± 10% の範囲を超えたとき
A10D	アラーム	電圧値異常 (+3.3V)	volt(+3.3V)	基板の +3.3V が -10%, +20% の範囲を超えたとき
A10E	アラーム	電圧値異常 (+1.8V_S)	volt(+1.8V_S)	子基板の +1.8V が +1.0V 以下のとき
A10F	アラーム	電圧値異常 (+3.0V_S)	volt(+3.0V_S)	子基板の +3.0V が +1.4V 以下のとき
A110	アラーム	電圧値異常 (+3.0V_BAT)	volt(BAT)	バックアップ用のボタン電池電圧が 1.7V 以下のとき
A111	アラーム	FAN 異常	FAN	筐体後面のファンについて 異常（停止）を検出したとき
A112	アラーム	内部温度異常	inner temp	内部温度にて、-20℃～ 70℃の範囲外を 検出したとき
A702	アラーム	RF 送信異常	RF transmit	RF 出力が制御できないとき

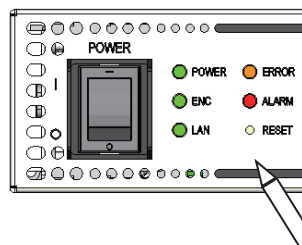
4-2. メンテナンスモード

稼働している本機の通常モード時の IP アドレスの確認やファームウェアのバージョンアップなどを行うことができます。
また、問題が発生した場合などにログ情報の取得や設定ファイルのメンテナンスも行うことができます。

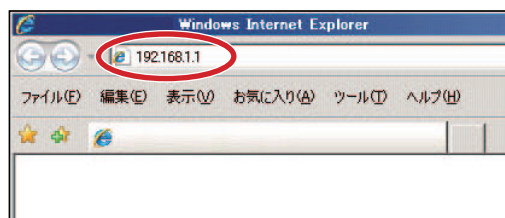
4-2-1. メンテナンスモードを起動する

1. リセットボタンを先端が細い木の棒などで押した状態のまま電源 ON にします。

POWER（表示灯）が点滅

2. POWER（表示灯）が緑色に点灯するまで（約 5 秒間）押し続けます。

3. 離します。

本機のメンテナンスモードが起動します。

4. Internet Explorer を起動します。

5. アドレスバーに IP アドレス「192.168.1.1」(固定) を入力します。

メンテナンスモードの IP アドレスは「192 . 168 . 1 . 1」
サブネットマスクは「255 . 255 . 255 . 0」固定です。
変更できません。

6. Enter キーを押します。

メンテナンス画面が表示されます。

VISK HD/SD OFDM MODULATOR PV-300H
館内OFDM自主放送システム
メンテナンスモード

Ver: 0000
SN: 00000000
IP: 192.168.1.1

メンテナンス設定

設 定　デフォルト

ネットワーク設定　MACアドレス　バージョンアップ　ログ　設定ファイル

A ネットワーク設定

IPv4

IPアドレス　192.168.1.1
サブネットマスク　255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ

B MACアドレス

00:00:00:00:00:00

C バージョンアップ

ファイル選択　参照...　実行

D ログ

装置から読出し　実行

E 設定ファイル

装置へ書込み　参照...　実行
装置から読出し　実行

A.

項目	内容
ネットワーク設定	通常モード時の IP アドレス設定内容の表示と設定を行います

B.

項目	内容
MAC アドレス	本機の MAC アドレスを表示します

C.

項目	内容
バージョンアップ	ファームウェアやブラウザの更新など、システムのバージョンアップを行います。

1. バージョンアップファイルを弊社サポートより入手してください。

お問合せ先については「お問い合わせ相談窓口」(98 ページ) を参照してください。

2. 「バージョンアップ」→「ファイル選択」にある「参照」ボタンをクリックし、**1.** で入手したファイルを選択してください。

3. 「実行」ボタンを押します。

● バージョンアップについて

バージョンアップ中は電源を切らないでください。
故障の原因となることがあります。
なお、バージョンアップ中は表示灯が以下のように変化します。

1. ERROR および ALARM が交互に点滅 (ファームウェア更新中)
2. POWER が点滅 (再起動中)
3. POWER が点灯 (バージョンアップ完了)

D.

項目	内容
ログ	「装置から読出し」にある「実行」ボタンをクリックすることにより、本機のログを読み出します。 ファイルはテキストファイル (UTF-8) 形式で保存することができます。

E.

項目	内容
設定ファイル	稼働中の本機の動作設定を確認するために本体内部にあるファイルを読み出し、設定 PC に保存します。 また、設定 PC 上で設定・変更したファイルを本機にアップロードすることにより、設定ファイルを書き換えることができます。

● 設定ファイルについて

設定ファイル書き込み中は電源を切らないでください。
設定ファイルの内容はお客様で編集しないでください。
故障の原因となることがあります。

4-3. 空気取り入れ口のお手入れ

本体前面の空気取り入れ口にほこりがついているときは、掃除機で吸い取ってください。

〈前面〉

5. 主な仕様

5-1. 詳細仕様

5-1-1. 映像入力

No.	項目		規格	備考
1	アナログ映像 (VIDEO)	入力信号形式	アナログコンポジット NTSC (SMPTE170M 準拠) *1 , *2	
		入力レベル	1 ± 0.2Vp-p	
		入力インピーダンス	75 Ω	
		入力コネクタ	RCA	
		入力端子	1 端子	
2	HDMI 映像 (HDMI)	入力信号形式	HDMI(480i/1080i 対応) (HDCP 対応)	
		入力コネクタ	HDMI	
		入力端子	1 端子	

*1. SMPTE（全米映画テレビジョン技術者協会）が発表した映像機器と音声機器を同期させることを目的とした規格。
*2. アナログ VTR などの SMPTE 規格に準拠していない機器の場合、エンコードできないことがあります。

5-1-2. 音声入力

No.	項目		規格	備考
1	アナログ (AUDIO)	入力信号形式	アナログ 2ch	
		入力レベル	最大 2.2dBu、1.0 Vrms	
		入力インピーダンス	54k Ω (不均衡 HiZ)	
		サンプリング周波数	48kHz	
		コネクタ	RCA	
		入力端子	L/R 各 1 端子	
2	HDMI エンベデッド	入力信号形式	HDMI 信号に重畳された Embedded 音声 2ch	
		サンプリング周波数	48kHz	
		コネクタ	HDMI 映像 (HDMI) と同一	
		入力端子	HDMI 映像 (HDMI) と同一	

5-1-3. RF OUT

No.	項目	規格	備考
1	出力チャンネル	1ch ～ 62ch, CATV 含む (90MHz ～ 770MHz,1/7MHz オフセット含む)	
2	出力レベル	105dB μV	
3	出力レベル可変幅	90dB μV ～ 110dB μV(1dB μV ステップ)	
4	スプリアス、不要発射	-50dB 以下 ※ JCTEA-STD-010-OFDM の測定方法による	30MHz ～ 3GHz
5	送信スペクトルマスク	JCTEA STD-011-1.0 の 5.1 OFDM-SP 出力の規定	
6	帯域内振幅周波数特性	2.0dBp-p 以内 (5.58MHz 帯域内)	
7	中心周波数偏差	± 10kHz	
8	占有帯域幅	5.7MHz	
9	出力レベル確度	設定値に対して± 1dB 以内	
10	出力レベル安定度	± 2dB 以内	
11	MER	27dB 以上	
12	インピーダンス	75 Ω	
13	出力コネクタ	F 型ジャック	
14	出力端子	1 端子	

5-1-4. RF MON

No.	項目	規格	備考
1	出力レベル	RF OUT に対して -20 ± 5dB 以内	
2	インピーダンス	75 Ω	
3	出力コネクタ	F 型ジャック	
4	出力端子	1 端子	

5-1-5. RF 入力 (RF IN)

No.	項目	規格	備考
1	入力信号内容	UHF 入力 (ワンセグ)	
2	受信チャンネル	13ch ～ 62ch (470MHz ～ 770MHz)	
3	入力レベル	45 ～ 110dBμV	
4	入力インピーダンス	75 Ω	
5	入力コネクタ	F 型ジャック	
6	入力端子	1 端子	

5-1-6. OFDM 変調部

No.	項目	規格	備考
1	伝送モード	Mode3	
2	キャリア変調方式	64QAM	
3	ガードインターバル比	1/8	
4	畳込み符号	3/4	
5	時間インターリーブ	2	
6	周波数セグメント数	13 セグメント	
7	階層数	1 階層	

5-1-7. 符号化

No.	項目		規格	備考
1	HD 映像	符号化方式	MPEG-2 MP@HL, MP@H14L, 4:2:0	
		映像フォーマット	1080i 1920 (H) x 1080 (V) 1440 (H) x 1080 (V)	
		フレームレート	29.97fps	
		符号化制御モード	CBR	
2	SD 映像	符号化方式	MPEG-2 MP@HL, 4:2:0	
		映像フォーマット	480i 720 (H) x 480 (V)	
		符号化制御モード	CBR	
3	音声	符号化方式	MPEG-2 AAC LC-profile	
		符号化レート	192kbps	
		符号化チャンネル	2ch (STEREO、DualMono)	

5-1-8. イーサネットポート (LAN)

No.	項目	規格	備考
1	通信インターフェース	100BASE-TX/1000BASE-T	
2	通信方式	TCP/IP, UDP/IP	
3	コネクタ	RJ-45 型	
4	入出力端子	1 端子	
5	その他	SNMP v3	

● **イーサネットポートについて**

本機は Auto-Negotiation 機能を備えています。本機と直接 LAN ケーブルで接続する機器は Auto-Negotiation モードで接続を行ってください。
本機の接続先が固定モードの場合、正常に接続できません。
本機との接続先の機器との通信速度 (100M/1000M) やモード (Full/Half duplex) は、本製品の Auto-Negotiation 機能によって自動的に設定されます。

5-1-9. ファン

No.	項目	規格	備考
1	寿命	約 7 年 (25℃， 60,000 時間)	
2	回転センサ	あり	
3	交換方法	弊社へのセンドバックにて交換対応	有償対応

5-1-10. その他

No.	項目	規格	備考
1	ラストメモリ機能	電源投入時、電源 OFF 以前の設定状態で立ち上がる。	
2	時刻情報取得	外部 NTP サーバーまたは地上デジタル放送局からのワンセグ TOT から取得した時刻情報により、周期的に時刻補正を行うことができる。	

5-1-11. 一般仕様

No.	項目	規格	備考
1	構造	1U ハーフラック	
2	冷却方式	DC ファンによる強制空冷	
3	消費電力	約 22W	AC100V 入力時
4	使用温度範囲	0 ～ +40℃	
5	使用湿度範囲	30 ～ 90% RH	結露なきこと
6	寸法	H44 × W210 × D340(mm)	突起部分は除く
7	質量	約 2.5kg	

6. アフターサービスについて

商品に対する大切なお知らせ

下記URLにてご確認ください。
http://www.kcd.co.jp/

お問い合わせ相談窓口

㈱中日電子製品に関連する下記の相談を承ります。

1. 営業に関するお問い合わせ
2. 修理に関するお問い合わせ
3. 技術に関するお問い合わせ
4. バージョンアップに関するお問い合わせ

技術に関するお問い合わせの前に、まずマニュアルの該当するページをご覧ください。
ご相談の際には次の点をお知らせください。

1. お名前
2. 連絡先電話番号
3. 使用機種
4. 製品番号(シリアルナンバー)

お問い合わせ先

■サポート専用フリーダイヤル

受付時間 : 平日 9:00 ~ 17:00 (土・日・春期・夏期・年末年始・他弊社休業日を除く)
〒458-8525　愛知県名古屋市緑区鳴海町伝治山1番地

■ホームページからのアクセス
ホームページからもお問い合わせいただけます。
http://www.kcd.co.jp/mail/contact.html